

野球普及振興活動状況調査2024

【報告書】

＝調査対象：2023.1.1～2023.12.31 実施事業＝

日本野球協議会 普及・振興委員会

日本野球協議会 普及・振興委員会

2025.3.1 作成

調査概要

□ 調査目的

各団体が行う野球普及振興活動の実態を統計的に把握することで、より多くの人々に野球に親しむ機会を効果的に提供する施策を検討し、野球界協働での普及振興活動の増進を図り、もって競技人口の維持・拡大に資することを目的とする。

□ 対象期間 2023年1月1日～2023年12月31日に行われた各団体における普及振興活動

□ 対象団体 日本野球協議会に参加するプロ・アマ中央団体、加盟団体、支部団体、チーム

□ 対象事業 普及振興活動分類(次頁参照)に記載する事業

□ 調査票 **【調査票Ⅰ】**＝イベントごとに参加者が異なる事業(参加者の継続性なし)
【調査票Ⅱ】＝特定人物に対して一定期間繰り返し行われる事業(参加者の継続性あり)
※詳細次項参照

□ 調査期間 **プロ関係団体、各球団:2024年6月～7月31日**
※独立リーグ、OBクラブ、選手会、名球会、世界少年野球推進財団、殿堂博物館を含む

アマチュア団体 2024年6月～8月31日
※支部団体(ブロック、都道府県、地区連盟等)、チームを含む

□ 調査方法 調査票配布による定量調査

□ 調査主管 日本野球協議会 普及・振興委員会

普及振興活動分類

分類定義

対象事業例

【調査票Ⅰ】= イベントごとに参加者が異なる事業(参加者の継続性なし)

分類定義

対象事業例

【調査票Ⅱ】= 特定人物に対して一定期間繰り返し行われる事業(参加者の継続性あり)

①野球教室	主に野球経験者を対象とした技術指導を行う活動	〇〇野球教室、キッズベースボールフェスティバル、大人のための野球教室、プロ野球選手会夢の向こうに、サマーキャンプ等
②体験活動	主に野球未経験者に対して野球に親しむ機会を提供することを目的とした体験活動 ※③を除く	こどもフェスティバル、ティーボール教室、ストラックアウト、親子ふれあいイベント、キャッチボール体験会等
③訪問活動	幼稚園、保育園における保育時間内、学校における授業時間内、福祉施設における通所時間内での交流を目的とした訪問活動	野球ふれあい訪問、小学校体育訪問、夢先生、マスコットと遊ぶ、給食交流会等
④授業研究会	学校体育におけるベースボール型授業普及のために教員や教員を志す者に対して行うデモ授業	ベースボール型授業研究会、教員向け勉強会、体育授業講習会等
⑤大会開催	自団体の加盟チームや登録選手以外を参加対象とした大会の開催(他のカテゴリーを対象にした大会)	プロ野球選手会キャッチボールクラシック、NPBガールズトーナメント(学童向け)、ジャイアンツカップ(少年向け)、車椅子ソフトボール大会(障害者向け)等
⑥観戦招待	自団体やチームが主催する試合への観戦招待	こどもデー、少年野球チーム招待、被災地招待、修学旅行招待等
⑦指導者講習会	指導者の資質向上を目的とした研修・講習会	コーチ養成講座、技術セミナー、トレーニング講習、障害予防講習、甲子園塾、記録講習、審判講習等
⑧地域貢献活動	清掃活動や地域スポーツイベント、お祭り、ボランティア活動など地域における社会貢献活動	マラソン大会、町民運動会、一日警察署長、農業体験、登校支援、市民まつり、クリーンアップ活動等
⑨その他(Ⅰ)	野球の普及振興の観点から実施されるもので上記のいずれにも当てはまらない活動	練習見学、メディカルチェック、肘検診、サマーキャンプ等

⑩スクール事業	各団体や球団(チーム)が行う特定の人物に対して一定期間複数回行う技術向上を目的としたアカデミー等スクール事業	〇〇アカデミー、12球団ジュニアチーム、チアダンススクール等
⑪その他(Ⅱ)	野球の普及振興の観点から実施されるもので上記に当てはまらない参加継続性のある事業 ※詳細は調査票備考欄に記入のこと	指導者派遣、練習補助等

普及振興活動状況調査2024 集計表

※対象事業活動期間：2023年1月1日～12月31日

種別	所属分類	略称表記	団体名	調査票Ⅰ				調査票Ⅱ	
				全体数		地域貢献活動を除く(※')			
				事業数	人数	事業数	人数	事業数	人数
プロ野球 関係団体	01.日本野球機構	NPB	日本野球機構(12球団含む)	2,142	569,536	2,037	534,395	160	13,103
	02.日本独立リーグ野球機構	独立リーグ	球団	974	107,794	752	82,857	0	0
	03.日本プロ野球選手会	選手会	日本プロ野球選手会	77	12,910	76	15,325	0	0
	04.日本プロ野球OBクラブ	OBクラブ	全国野球振興会(プロ野球OBクラブ)	165	15,887	165	15,887	0	0
	05.世界少年野球推進財団	WCBF	世界少年野球推進財団	28	993	28	2,253	0	0
	06.日本プロ野球名球会	名球会	日本プロ野球名球会	14	2,495	13	2,295	0	0
	07.野球殿堂博物館	殿堂博物館	野球殿堂博物館	16	1,286	16	1,286	0	0
BFJ 関係団体	08.全日本野球協会	BFJ	全日本野球協会	27	2,045	27	2,045	0	0
	09.日本野球連盟	JABA	日本野球連盟(支部含む)	415	727,367	369	47,215	18	1,701
			全日本少年硬式野球連盟	12	905	12	905	0	0
			日本少年野球連盟	43	26,317	0	0	0	0
			日本リトルシニア中学硬式野球協会	3	718	3	718	0	0
			日本ポニーベースボール協会	7	1,130	7	1,130	0	0
			日本リトルリーグ野球協会	14	755	14	755	1	320
	10.全日本大学野球連盟	大学連盟	全日本大学野球連盟	3	244	3	244	0	0
			地区連盟	15	1,107	15	1,107	0	0
			大学	129	36,536	106	10,230	6	289
	11.日本高等学校野球連盟	高野連	日本高等学校野球連盟	9	3,237	9	3,237	0	0
			都道府県連盟	351	40,632	351	40,632	5	397
			高校	193	8,760	190	8,660	4	268
	12.全日本軟式野球連盟	全軟連	全日本軟式野球連盟	58	4,624	58	4,624	0	0
支部連盟			165	25,458	161	23,097	1	79	
その他(※')			41	6,118	41	6,118	7	352	
13.日本女子硬式野球クラブ連盟	全日本女子(硬式)	全日本女子硬式野球クラブ連盟	13	45,760	5	220	0	0	
14.全国高等学校女子硬式野球連盟	高校女子(硬式)	全国高等学校女子硬式野球連盟	15	926	6	439	0	0	
				4,929	1,643,540	4,464	805,674	202	16,509

※特記事項は、次頁参照

普及振興活動状況調査2024 集計表 特記事項

[普及振興活動状況調査の集計及び分析作業における特記事項]

(※¹) 地域貢献活動

不特定多数の人が往来する事業が多数。「〇〇まつり〇万人」「〇〇マラソン大会〇万人」とする数値は、直接リーチした人数値に大きな影響を及ぼすため、全体集計に含めず「地域貢献活動」のみを独立させて集計作業を行った。

(※²) その他

都道府県の野球協会、協議会、OB会など。都道府県連盟と合同で行った事業は、都道府県連盟の事業に計上し、集計作業を行った。

野球人口の推移 (2016~2023)

(各統括団体の選手登録者数)

区分1	区分2	出典	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
			平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
女子	硬式	WBFJ									1,519	1,776	1,902	2,118	2,145	2,229	2,533	2,701	2,937
女子	軟式	JSBB								1,820	1,860	1,860	2,000	1,960	2,080	2,380	2,460	2,480	2,560
還暦	軟式	JSBB				9,000	9,140	9,060	9,160	8,980	8,980	8,940	9,100	9,120	9,200	9,220	9,340	9,460	9,620
社会人	硬式	JABA	11,884	11,595	11,689	11,557	11,270	11,598	11,794	11,694	11,833	12,758	12,768	12,741	12,657	12,202	12,176	12,109	11,995
一般	軟式	JSBB	736,900	734,200	732,360	723,980	698,500	696,980	666,820	637,380	627,260	612,020	596,120	582,140	512,156	479,816	461,057	439,629	380,469
大学	硬式	JUBF	20,146	21,506	22,382	23,173	23,420	23,934	24,297	24,715	26,326	27,779	28,998	29,207	28,708	26,907	28,902	28,769	28,252
大学	軟式	JSBB				9,940	9,480	9,960	9,920	9,860	9,660	9,860	9,800	9,860	9,660	9,420	8,720	8,800	8,660
専門学校	軟式	JSBB				4,020	3,980	3,520	3,320	3,440	3,320	3,180	3,020	2,820	2,360	220	580	800	1,320
高校	硬式	JHBF	168,501	169,298	169,449	168,488	166,925	168,144	167,088	170,312	168,898	167,635	161,573	153,184	143,867	138,054	134,282	131,259	128,357
高校	軟式	JHBF	11,310	11,450	11,532	11,014	10,983	10,797	10,945	10,535	10,307	9,561	9,303	8,755	8,214	7,787	7,898	7,820	7,672
中学(リトルシニア)	硬式	JABA	19,058	19,339	20,287	21,126	22,258	22,341	21,672	20,971	20,613	20,300	20,072	20,093	20,552	20,656	21,400	21,123	20,930
中学(ボーイズ)	硬式	JABA	17,663	18,166	19,215	20,304	21,617	22,241	22,596	21,594	21,202	20,625	20,989	20,425	21,529	21,937	22,967	22,751	22,655
中学(ヤング)	硬式	JABA	4,157	4,224	4,530	4,809	5,056	5,027	5,292	4,866	5,128	5,043	5,020	5,226	5,289	5,430	5,724	5,834	5,656
中学(ポニー)	硬式	JABA		1,326	1,377	1,411	1,407	1,395	1,423	1,800	1,783	1,684	1,717	1,963	2,167	2,361	2,854	3,025	3,587
中学(フレッシュ)	硬式	JABA	2,066	1,709	1,800	1,960	1,748	1,769	1,492	1,355	1,405	1,350	1,270	975	935	930	880	830	800
中学(その他)	硬式	JABA		1,093	1,112	989	1,019	1,012	620	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中学(男子)	軟式	中体連	305,300	305,958	307,053	291,015	280,917	261,527	242,290	221,178	202,470	185,314	174,343	166,800	164,173	158,555	144,314	137,384	129,454
中学(女子)	軟式	中体連	855	1,137	1,333	1,505	1,658	1,886	1,599	1,955	2,677	2,438	2,686	2,890	3,302	3,606	3,856	3,936	4,272
小学生(リトル)	硬式	JABA	11,577	11,628	11,696	12,121	13,311	12,801	14,586	12,000	11,000	10,000	9,500	9,300	7,300	6,900	6,800	6,300	6,000
小学生(ボーイズ)	硬式	JABA	3,649	3,735	3,756	3,755	3,488	3,308	2,938	2,113	2,133	1,889	2,140	1,805	2,066	1,887	1,685	1,777	1,572
小学生(ヤング)	硬式	JABA	310	322	318	321	310	293	216	195	207	191	254	261	278	273	260	202	180
小学生(ブロンコ)	硬式	JABA					52	42	54	57	49	17	26	43	87	128	146	134	142
小学(フレッシュ)	硬式	JABA	420	480	501	463	472	460	379	333	310	315	270	255	240	210	200	168	135
小学生(学童)	軟式	JSBB	299,360	299,480	296,720	296,480	284,420	278,280	265,820	253,260	247,920	242,920	235,840	229,400	197,550	187,015	175,786	170,309	162,380
合計			1,613,156	1,616,646	1,617,110	1,617,431	1,571,431	1,546,375	1,484,321	1,420,413	1,386,860	1,347,455	1,308,711	1,271,341	1,156,515	1,098,123	1,054,820	1,017,600	939,605

選手登録者数推定数として計算された箇所

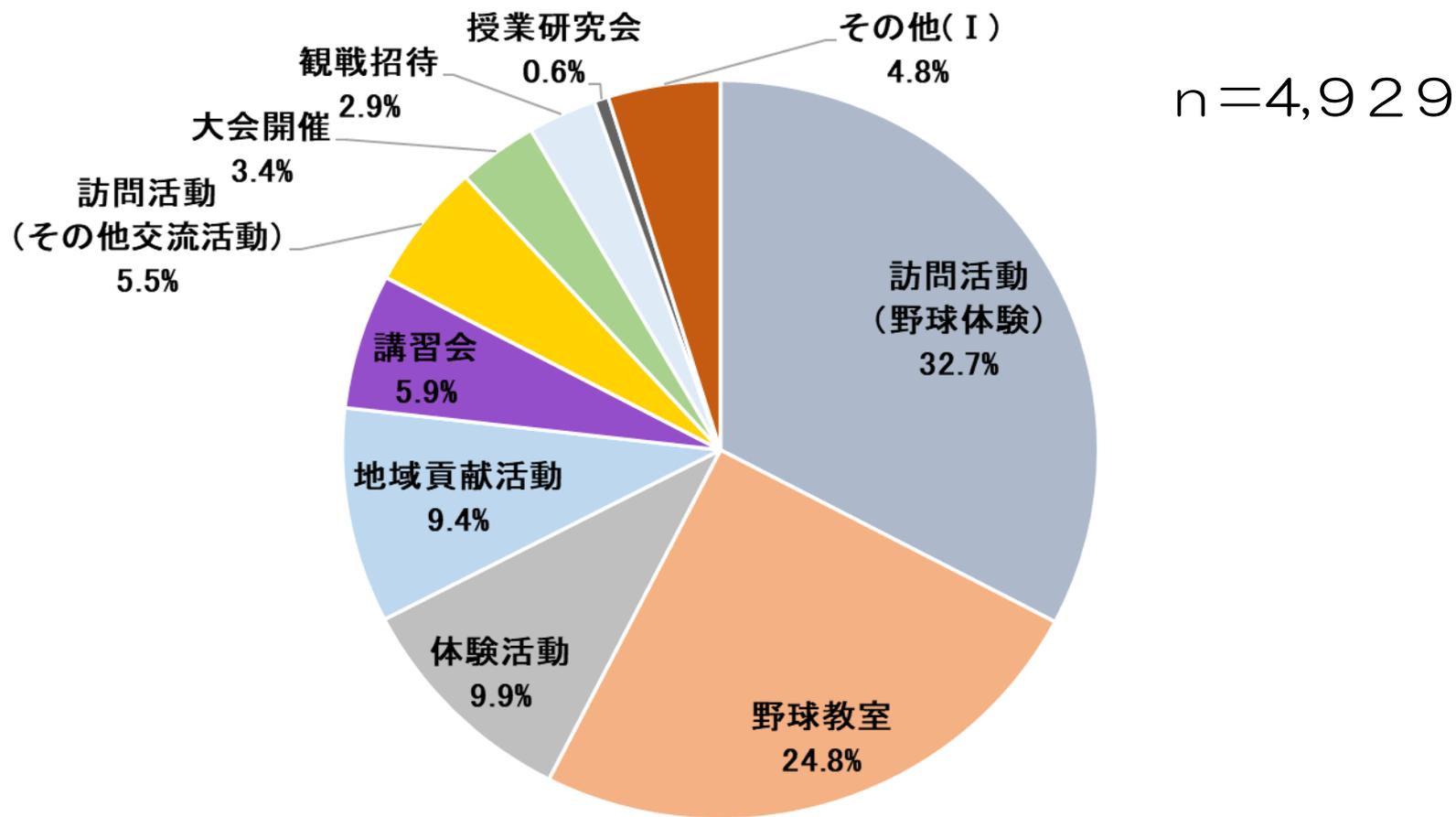
※出典：日本野球協議会 普及振興委員会

日本の野球人口(競技統括団体に登録している選手数)は、2007年から2023年にかけて161万3,156人から93万9,605人へと67万3,551万人減少している。特に、小学生の軟式・硬式野球及び全軟連の学童の選手登録者数は減少しており、小学生の野球離れが危惧される。軟式野球においては、成人の軟式野球人口も2007年の73万6,900人から2023年の38万469人にまで17年間で半減している。そして、これまで増加していた社会人(JABA)、高野連(硬式)及び中学硬式野球も減少傾向となっている。ただし、中学硬式野球(リトルシニア、ボーイズ、ヤング、ポニー、フレッシュ)は、少子化を考慮すると、生徒数に対して相対的に競技人口は増加していると考えられる。また、女子野球は調査期間中に増加傾向にあり、WBFJの2023年の登録者数は2015年の競技人口の約2倍となっている。中体連(女子)は、2007年の855人から2023年の4,272人まで約3,400人増加している。

調査票 I

＝イベントごとに参加者が異なる事業(参加者の継続性なし)＝

全体(回数)



参加者の継続性がない普及振興活動は、2023年に野球界全体で4,929回行われた。なかでも「訪問活動(野球体験)」が最も多く、1,614回で全体の32.7%を占めた。次いで、「野球教室」24.8%、「体験活動」9.9%、「地域貢献活動」9.4%、「講習会」5.9%、「訪問活動(その他交流活動)」5.5%、「大会開催」3.4%、「観戦招待」2.9%、「授業研究会」0.6%、「その他(I)」4.8%であった。

全体(回数&割合) ※2022年調査、2020年調査、2018年調査及び2016年調査と2024年調査との比較

調査年	野球教室	体験活動	訪問活動(※ ¹)			授業研究会(※ ²)	大会開催	観戦招待(※ ³)	講習会	地域貢献活動(※ ⁴)	その他(I)	合計	
			野球体験	その他交流活動	小計								
2024	回数	1,223	486	1,614	272	1,886	30	169	144	291	465	235	4,929
	%	24.8	9.9	32.7	5.5	38.3	0.6	3.4	2.9	5.9	9.4	4.8	100.0
2022	回数	554	306	803	154	957	13	73	129	192	193	239	2,656
	%	20.9	11.5	30.2	5.8	36.0	0.5	2.7	4.9	7.2	7.3	9.0	100.0
2020	回数	1,609	642	1,307	444	1,751	68	153	249	531	682	248	5,933
	%	27.1	10.8	22.0	7.5	29.5	1.1	2.6	4.2	8.9	11.5	4.2	100.0
2018	回数	1,293	640	1,016	519	1,535	66	138	215	419	568	101	4,975
	%	26.0	12.9	20.4	10.4	30.9	1.3	2.8	4.3	8.4	11.4	2.0	100.0
2016	回数	1,442	424	—	—	882	21	145	—	197	—	294	3,405
	%	42.3	12.5	—	—	25.9	0.6	4.3	—	5.8	—	8.6	100.0

※¹ 2016年調査では、調査項目が「訪問活動」であった。

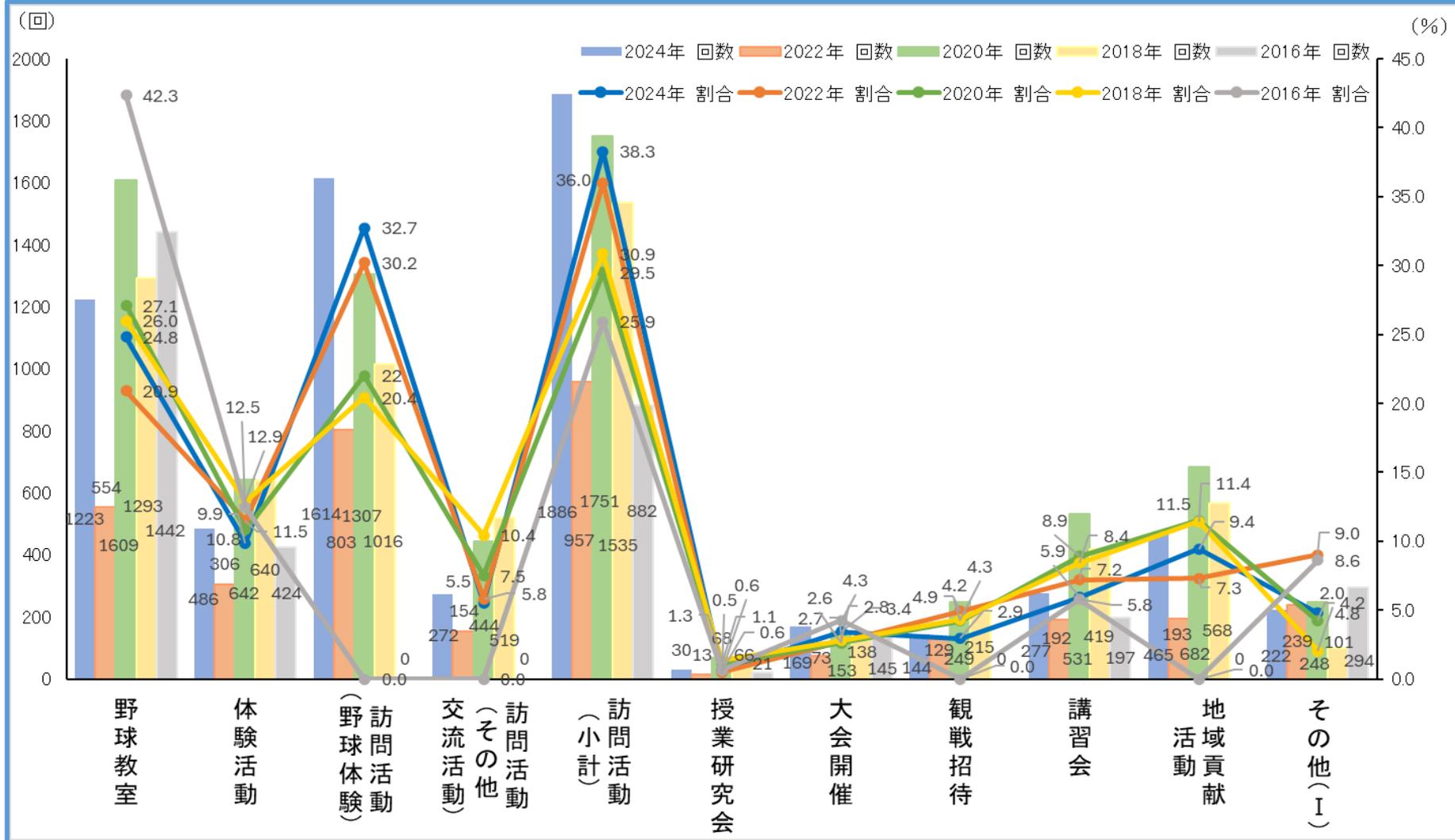
※² 2016年調査及び2018年調査では、調査項目「授業研究会」は「教員向け体育授業研究会」であった。

※³ 2016年調査における「観戦招待」の回数及び割合は、データの都合から記載していない。

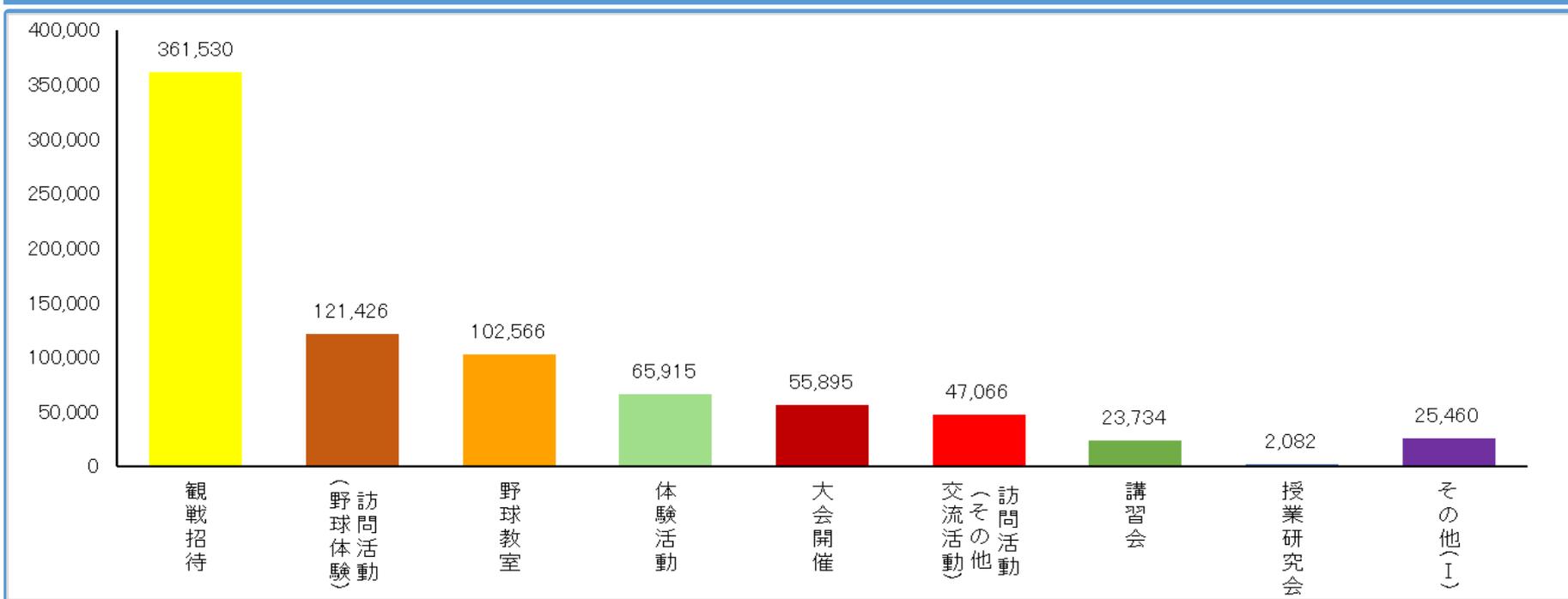
※⁴ 2016年調査では、「地域貢献活動」は調査されていない。

総事業回数は、2022年調査及び2016年調査よりも2024年調査の方が増加しているが、2020年調査及び2018年調査よりも減少している。ただし、コロナ禍の減少から2018年調査の水準にまで回復している。2024年調査の事業は、2022年調査と比較すると、10の事業のうち「その他」以外の9の事業で回数が増加している。特に、「訪問活動(野球体験)」は2022年調査の約2倍行われており、これまでの調査の中で最多となった。しかし、「授業研究会」、「観戦招待」及び「講習会」は2020年調査及び2022年調査の水準の半分程度までにとどまっている。2024年調査を2020年調査、2018年調査及び2016年調査と比較すると、「訪問活動(野球体験)」及び「大会開催」の回数が増加している。全体に占める事業の割合を比較すると、2016年では、「野球教室」42.3%、「訪問活動」25.9%の順に高く、2018年、2020年及び2022年では、「訪問活動」、「野球教室」の順に高かったが、2024年は、「訪問活動」38.6%、「野球教室」24.8%の順に高い。2016年調査、2018年調査、2020年調査及び2022年調査と2024年調査を比較すると、「訪問活動(野球体験)」は2016年調査から増加傾向にあり、「訪問活動(その他交流活動)」は減少傾向にある。

全体(回数&割合) ※2022年調査、2020年調査、2018年調査及び2016年調査と2024年調査との比較



全体(人数)【地域貢献活動を除く】

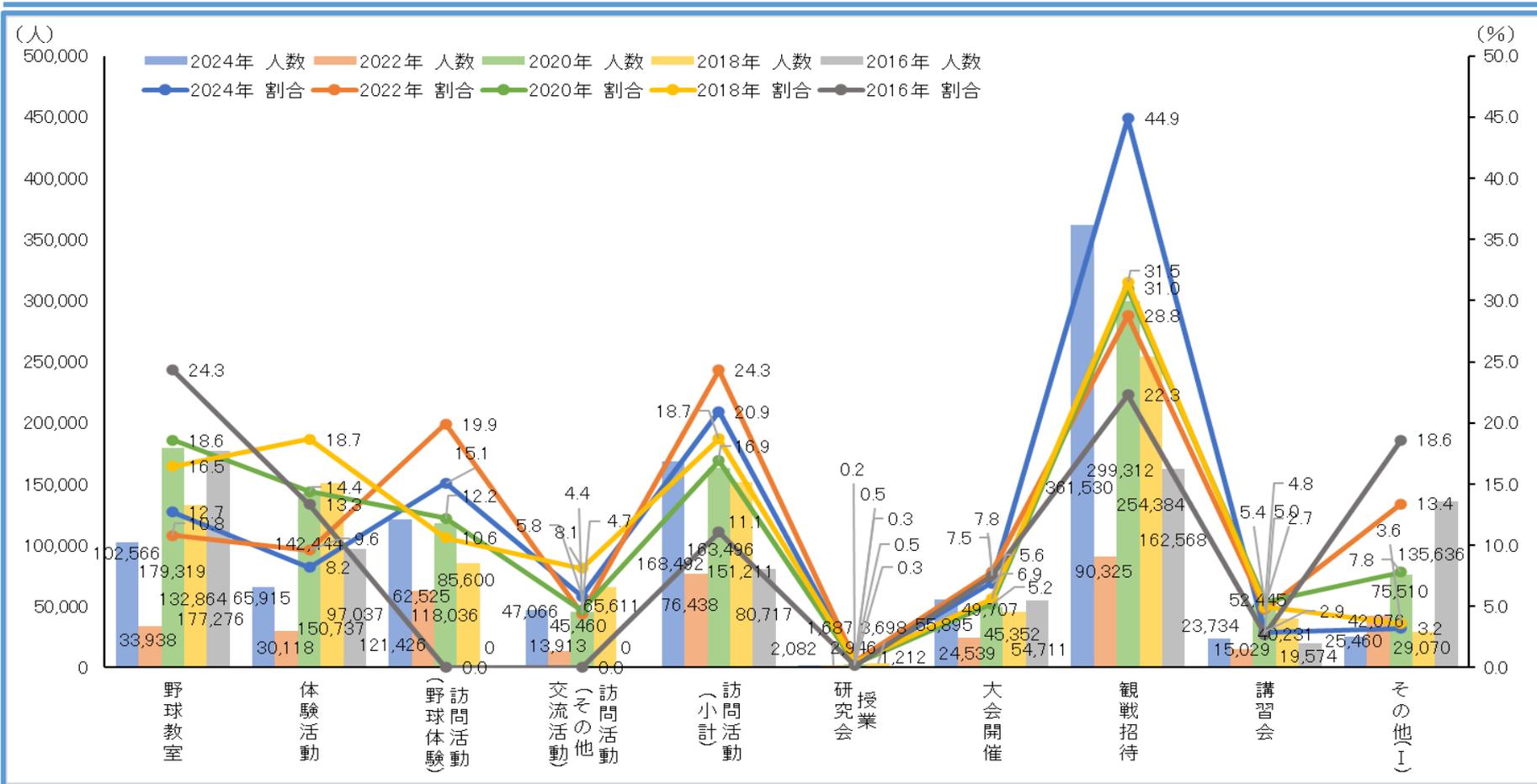


調査年		野球教室	体験活動	訪問活動(※ ¹)			授業研究会(※ ²)	大会開催	観戦招待	講習会	その他(I)	合計
				野球体験	その他交流活動	小計						
2024年	人数	102,566	65,915	121,426	47,066	168,492	2,082	55,895	361,530	23,734	25,460	805,674
	%	12.7%	8.2%	15.1%	5.8%	20.9%	0.3%	6.9%	44.9%	2.9%	3.2%	100.0
2022年	人数	33,938	30,118	62,525	13,913	76,438	1,687	24,539	90,325	15,029	42,076	314,150
	%	10.8	9.6	19.9	4.4	24.3	0.5	7.8	28.8	4.8	13.4	100.0
2020年	人数	179,319	142,444	118,036	45,460	163,496	2,946	49,707	299,312	52,445	75,510	965,179
	%	18.6	14.4	12.2	4.7	16.9	0.3	5.2	31.0	5.4	7.8	100.0
2018年	人数	132,864	150,737	85,600	65,611	151,211	3,698	45,352	254,384	40,231	29,070	807,547
	%	16.5	18.7	10.6	8.1	18.7	0.5	5.6	31.5	5.0	3.6	100.0
2016年	人数	177,276	97,037	0	0	80,717	1,212	54,711	162,568	19,574	135,636	728,731
	%	24.3	13.3	0.0	0.0	11.1	0.2	7.5	22.3	2.7	18.6	100.0

※¹ 2016年調査では、調査項目が「訪問活動」であった。 ※² 2016年調査及び2018年調査では、調査項目「授業研究会」は「教員向け体育授業研究会」であった。
注) 極端に人数が多い活動があるため、地域貢献活動を除外している。

2024年調査の事業には、合計で80万5,674人が参加した。事業の中で最も多くの参加者があったのは「観戦招待」で、36万1,530人であった。次いで、「訪問活動」(16万8,492人)、「野球教室」(10万2,566人)、「体験活動」(6万5,915人)への参加が多かった。

全体(人数)【地域貢献活動を除く】



2024年調査の事業参加人数を2022年調査、2020年調査、2018年調査及び2016年調査と比較すると、総参加人数は2022年調査及び2016年調査よりも多く、2020年調査及び2018年調査よりも少ない。ただし、総参加人数はコロナ禍で減少した2022年調査から2018年調査の水準まで回復している。事業別にみると、「訪問活動」、「観戦招待」及び「大会開催」は参加人数が増加している。「野球教室」、「体験活動」及び「講習会」は、2022年調査よりも参加人数が増加しているが、2020年調査及び2018年調査の水準には届いていない。また、全体に占める参加者数の割合を比較すると、「観戦招待」が増加しており、全体の46.3%を占めている。他方で、「野球教室」の参加人数の割合は減少傾向にある。

団体別(回数)

団体	野球教室	体験活動	訪問活動 (野球体験)	訪問活動 (その他交流活動)	授業研究会	大会開催	観戦招待	講習会	地域貢献活動	その他(I)	合計
NPB	268	129	1,260	143	29	25	86	9	105	88	2,142
独立リーグ	292	77	188	79	0	10	45	8	222	53	974
選手会	3	3	19	12	0	38	1	0	1	0	77
OBクラブ	80	1	0	24	0	9	0	3	0	48	165
WCBF	5	0	13	0	0	0	0	10	0	0	28
名球会	10	1	0	0	0	2	0	0	1	0	14
殿堂博物館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	16
BFJ	0	0	0	0	0	0	0	14	0	13	27
ボーイズ	0	0	0	0	0	0	0	0	43	0	43
リトルシニア	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	3
ヤングリーグ	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	12
ポニー	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	7
フレッシュ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リトル	1	11	0	0	0	2	0	0	0	0	14
中学生野球連盟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
JABA	214	44	56	10	0	21	2	19	46	3	415
学生野球協会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学連盟	73	19	1	3	0	14	4	9	23	1	147
高野連	243	138	60	1	1	5	5	93	3	4	553
全軟連	20	43	9	0	0	35	1	103	4	8	223
全日本女子(硬式)	0	1	4	0	0	0	0	0	8	0	13
大学女子(硬式)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高校女子(硬式)	2	1	0	0	0	3	0	0	9	0	15
その他	12	18	4	0	0	4	0	2	0	1	41
合計	1,223	486	1,614	272	30	169	144	291	465	235	4,929

※ ヤングリーグ: 全日本少年硬式野球連盟、ボーイズ: 日本少年野球連盟(ボーイズリーグ)、ポニー: 日本ポニーベースボール協会、リトルシニア: 日本リトルシニア中学硬式野球協会、リトル: 日本リトルリーグ野球協会

2024年調査の活動を団体別にみると、NPBの活動回数が各団体の活動の中でも2,142回と最も多く、次いで独立リーグ(974回)、高野連(553回)、JABA(415回)であった。NPB及びWCBFでは、「訪問活動(野球体験)」が最も多く行われ、独立リーグ、OBクラブ、名球会、JABA、大学連盟及び高野連では「野球教室」が、BFJ、リトルシニア、ヤングリーグ及びポニーでは「講習会」が最も多く行われた。また、ボーイズ、全日本女子(硬式)、高校女子(硬式)では「地域貢献活動」が、選手会では「大会開催」が最も多く行われた。フレッシュ、学生野球協会及び大学女子(硬式)は活動がなかった。

団体別(人数)

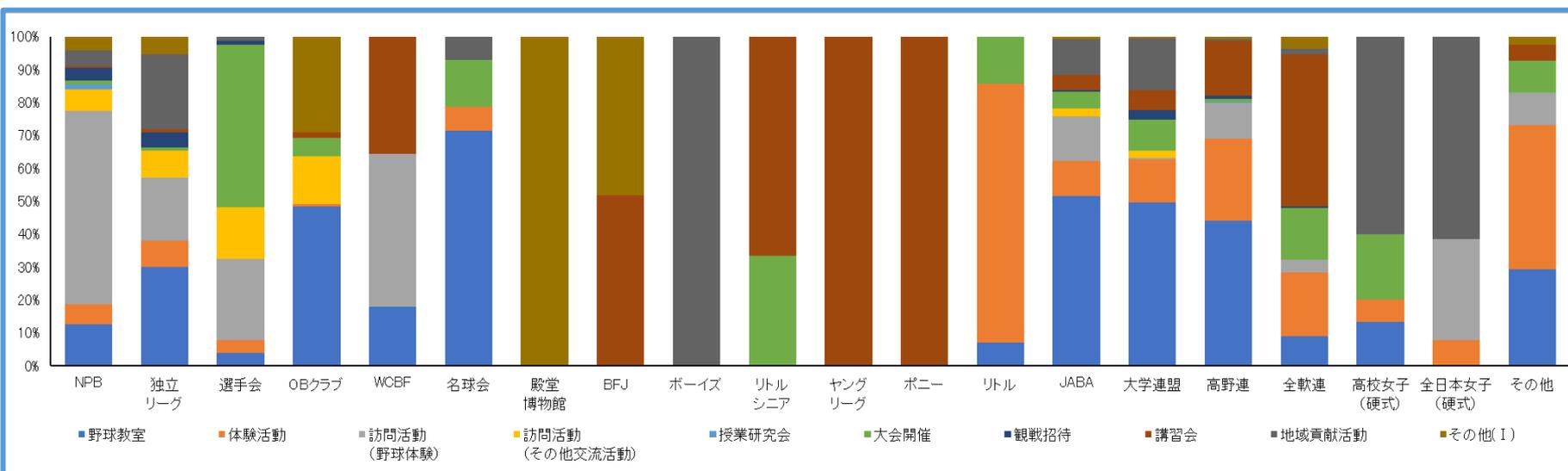
団体	野球教室	体験活動	訪問活動 (野球体験)	訪問活動 (その他交流活動)	授業研究会	大会開催	観戦招待	講習会	その他(I)	合計
NPB	26,348	12,455	100,362	18,206	1,832	20,391	347,751	1,409	5,641	534,395
独立リーグ	10,330	10,287	8,302	25,667	0	1,409	11,230	358	15,274	82,857
選手会	750	160	1,295	1,210	0	11,410	500	0	0	15,325
OBクラブ	11,711	39	0	1,331	0	2,660	0	146	0	15,887
WCBF	933	0	1,108	0	0	0	0	212	0	2,253
名球会	1,301	34	0	0	0	960	0	0	0	2,295
殿堂博物館	0	0	0	0	0	0	0	0	1,286	1,286
BFJ	0	0	0	0	0	0	0	1,928	117	2,045
ボーイズ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リトルシニア	0	0	0	0	0	118	0	600	0	718
ヤングリーグ	0	0	0	0	0	0	0	905	0	905
ポニー	0	0	0	0	0	0	0	1,130	0	1,130
フレッシュ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リトル	200	431	0	0	0	124	0	0	0	755
中学生野球連盟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
JABA	16,786	18,614	3,838	556	0	5,664	351	1,323	83	47,215
学生野球協会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学連盟	5,994	1,435	30	70	0	2,725	160	767	400	11,581
高野連	24,636	10,293	4,015	26	250	2,438	1,358	9,006	507	52,529
全軟連	2,231	9,412	750	0	0	7,316	180	5,840	1,992	27,721
全日本女子(硬式)	0	30	190	0	0	0	0	0	0	220
大学女子(硬式)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高校女子(硬式)	59	64	0	0	0	316	0	0	0	439
その他	1,287	2,661	1,536	0	0	364	0	110	160	6,118
合計	102,566	65,915	121,426	47,066	2,082	55,895	361,530	23,734	25,460	805,674

※地域貢献活動は、人数を特定できない活動があることから、分析の対象から除いている。

※「その他」には、都道府県単位の野球協会や競技会、市区町村単位の野球連盟、個別の野球団体が含まれる。

団体別に事業参加人数をみると、NPBが最も多く(53万4,395人)、全体の約66%を占めている。次いで、独立リーグ(8万2,857人)、高野連(5万2,529人)、JABA(4万7,215人)であった。2022年調査と比較すると、総参加人数は約49万人増加した。独立リーグ、ボーイズ及びポニーは減少している。NPBでは「観戦招待」が、OBクラブ、名球会、大学連盟及び高野連では「野球教室」が、リトル、JABA、全軟連及びその他は「体験活動」が最も多かった。また、WCBF、全日本女子(硬式)及び独立リーグは「訪問活動」が、選手会及び高校女子(硬式)は「大会開催」が、BFJ、リトルシニア、ヤングリーグ及びポニーは「講習会」が最も多かった。

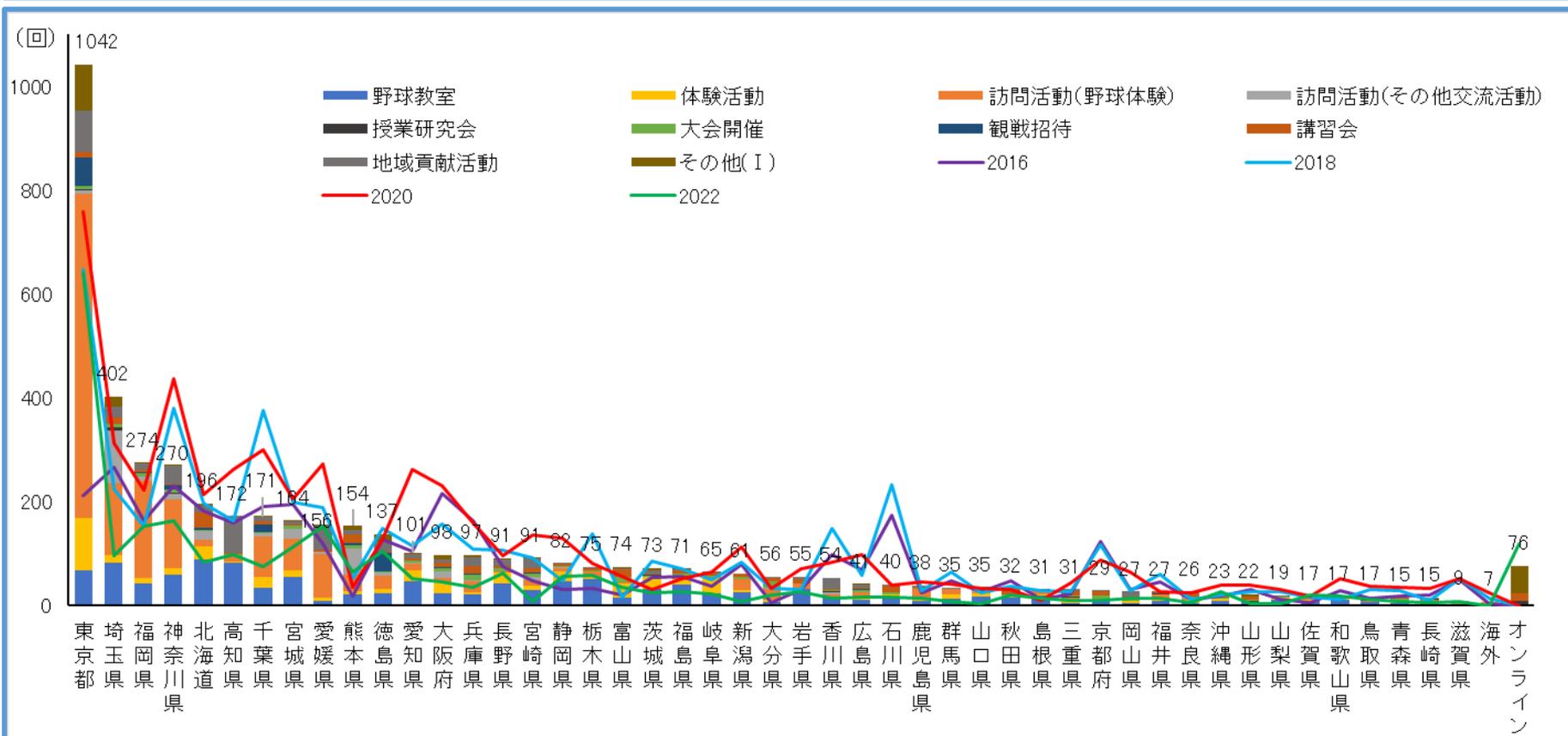
団体別(割合) 2024年調査の結果



団体	野球教室	体験活動	訪問活動 (野球体験)	訪問活動 (その他交流活動)	授業研究会	大会開催	観戦招待	講習会	地域貢献活動	その他(I)	合計
NPB	12.5	6.0	58.8	6.7	1.4	1.2	4.0	0.4	4.9	4.1	100.0
独立リーグ	30.0	7.9	19.3	8.1	0.0	1.0	4.6	0.8	22.8	5.4	100.0
選手会	3.9	3.9	24.7	15.6	0.0	49.4	1.3	0.0	1.3	0.0	100.0
OBクラブ	48.5	0.6	0.0	14.5	0.0	5.5	0.0	1.8	0.0	29.1	100.0
WCBF	17.9	0.0	46.4	0.0	0.0	0.0	0.0	35.7	0.0	0.0	100.0
名球会	71.4	7.1	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	7.1	0.0	100.0
殿堂博物館	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
BFJ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	51.9	0.0	48.1	100.0
ボーイズ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
リトル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	100.0
ヤング	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
ポニー	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
リトル	7.1	78.6	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
JABA	51.6	10.6	13.5	2.4	0.0	5.1	0.5	4.6	11.1	0.7	100.0
大学連盟	49.7	12.9	0.7	2.0	0.0	9.5	2.7	6.1	15.6	0.7	100.0
高野連	43.9	25.0	10.8	0.2	0.2	0.9	0.9	16.8	0.5	0.7	100.0
全軟連	9.0	19.3	4.0	0.0	0.0	15.7	0.4	46.2	1.8	3.6	100.0
高校女子	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0	100.0
全日本女子	0.0	7.7	30.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	61.5	0.0	100.0
その他	29.3	43.9	9.8	0.0	0.0	9.8	0.0	4.9	0.0	2.4	100.0
合計	24.8	9.9	33.0	5.6	0.6	3.4	2.9	5.6	9.5	4.5	100.0

団体別に最も割合の大きい活動をみると、NPB及びWCBFでは「訪問活動(野球体験)」、選手会では「大会開催」、独立リーグ、OBクラブ、JABA、大学連盟及び高野連では「野球教室」であった。リトルシニア、ヤングリーグ及びフレッシュでは「講習会」、ボーイズ、全日本女子(硬式)及び高校女子(硬式)では「地域貢献活動」であった。

都道府県×活動(回数) 回数順



〈プロ球団が所在する都道府県〉
 NPB : 北海道、宮城県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、兵庫県、広島県、福岡県
 独立リーグ: 北海道、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、神奈川県、新潟県、長野県、富山県、石川県、大阪府、兵庫県、和歌山県、愛媛県、香川県
 高知県、徳島県、福岡県、大分県、熊本県、宮崎県 (調査対象である2023年時点)

都道府県別に活動回数をみると、プロ球団が所在する都道府県が上位を占めている。2022年調査と比較すると、47都道府県のうち43都道府県で活動が増加していた。一方で佐賀県、山梨県及び和歌山県では活動が減少していた。次にコロナ禍前の2020年調査と比較すると、47都道府県のうち14都道府県で回数が増加していた。この14都道府県のうち10都道府県はプロ球団が所在する都道府県であった。また、2020年調査と比較して活動回数が減少していた33都道府県のうち7都道府県では2018年調査の水準まで活動回数が回復している。

都道府県×活動(回数) 回数順

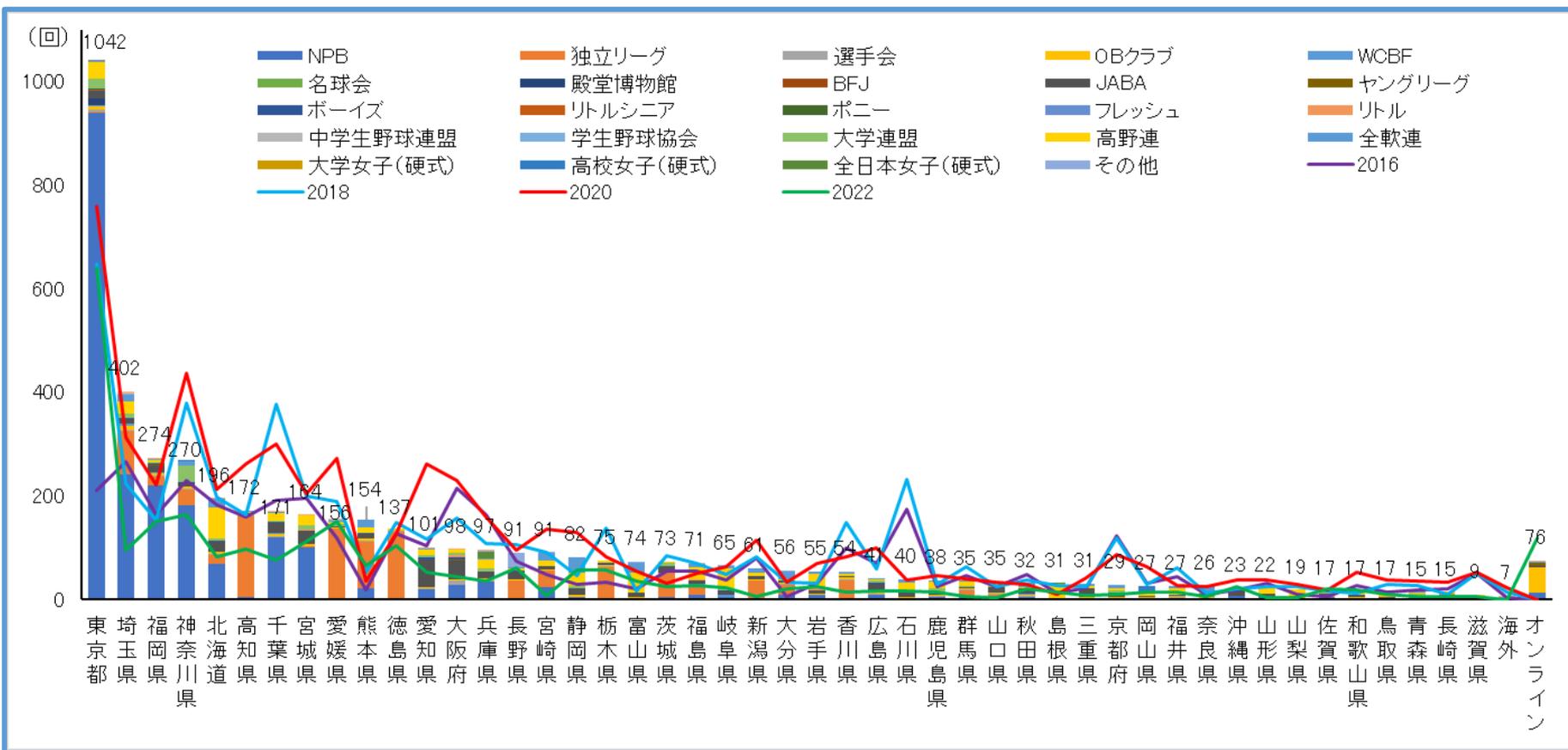
活動	東京都	埼玉県	福岡県	神奈川県	北海道	高知県	千葉県	宮城県	愛媛県	熊本県	徳島県	愛知県	大阪府	兵庫県	長野県	宮崎県	静岡県	栃木県	富山県	茨城県	福島県	岐阜県	新潟県	大分県	岩手県
野球教室	68	83	42	59	88	83	35	56	9	21	24	46	23	21	42	30	47	50	16	32	41	24	26	7	31
体験活動	101	15	11	13	26	1	21	11	7	7	7	21	21	4	21	8	19	6	27	23	9	28	4	5	2
訪問活動 (野球体験)	624	138	187	133	13	12	78	61	83	32	27	14	10	22	3	10	7	9	1	0	3	3	20	21	9
訪問活動 (その他交流活動)	6	102	9	10	16	0	5	20	4	49	6	1	11	2	0	7	1	1	0	0	0	0	0	2	0
授業研究会	2	5	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
大会開催	8	6	6	6	2	4	2	5	0	8	1	4	7	10	5	7	2	2	11	2	8	1	5	11	1
観戦招待	54	1	3	8	4	0	15	2	1	4	36	0	2	2	0	2	1	0	1	2	0	0	1	0	0
講習会	11	12	4	3	30	2	5	1	3	17	3	4	8	16	5	9	4	3	13	1	6	7	5	7	8
地域貢献活動	80	22	11	35	12	70	8	6	46	7	18	9	6	15	12	17	1	4	2	6	2	1	0	3	4
その他(Ⅰ)	88	18	1	1	4	0	1	2	3	9	15	2	9	5	3	1	0	0	3	6	2	0	0	0	0
合計	1,042	402	274	270	196	172	171	164	156	154	137	101	98	97	91	91	82	75	74	73	71	65	61	56	55

活動	香川県	広島県	石川県	鹿児島県	群馬県	山口県	秋田県	鳥取県	三重県	京都府	岡山県	福井県	奈良県	沖縄県	山形県	山梨県	佐賀県	和歌山県	鳥取県	青森県	長崎県	滋賀県	海外	オンライン	合計
野球教室	15	10	18	9	13	17	16	19	4	9	5	9	5	9	6	12	8	12	6	5	4	3	2	2	1,222
体験活動	1	5	4	1	8	6	3	2	6	2	3	5	7	4	1	3	3	1	0	3	0	0	0	0	486
訪問活動 (野球体験)	5	10	0	21	10	3	1	9	5	2	0	8	1	1	0	1	3	0	2	0	7	0	5	0	1,614
訪問活動 (その他交流活動)	5	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	3	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	267
授業研究会	1	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	7	30
大会開催	2	3	3	3	0	2	2	0	2	5	5	1	2	1	4	1	0	1	1	4	1	1	0	0	168
観戦招待	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	144
講習会	4	3	13	3	1	3	9	0	7	8	3	2	6	4	6	0	3	1	7	2	0	0	0	14	286
地域貢献活動	21	5	2	1	3	2	1	0	4	2	10	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	5	0	1	459
その他(Ⅰ)	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	52	235
合計	54	41	40	38	35	35	32	31	31	29	27	27	26	23	22	19	17	17	17	15	15	9	7	76	4,911

※開催地不明: 18事業

回数が多い上位10都道府県をみると、東京都、埼玉県、福岡県、神奈川県、千葉県、宮城県及び愛媛県では、「訪問活動(野球体験)」が最も多く行われ、北海道及び高知県では「野球教室」が、熊本県では「訪問活動(その他交流活動)」がそれぞれ最も多かった。上位10都道府県はプロ球団がある都道府県で占められていた。また、2022年調査では活動が行なわれなかった海外の事業は、2024年調査では「訪問活動(その他交流活動)」が5回行なわれた。2024年調査では、活動が10回以下だったのは滋賀県で、20回以下は山梨県、佐賀県、和歌山県、鳥取県、青森県及び長野県であった。

都道府県×団体(回数) 回数順



都道府県別に団体の活動回数をみると、上位は東京都、埼玉県、福岡県、神奈川県、北海道、千葉県及び宮城県といったNPB球団がある都道府県や高知県、愛媛県及び熊本県など独立リーグがある都道府県であった。これらの都道府県では各プロ団体による活動が大半を占めるが、北海道では高野連の活動も多かった。NPBの回数が最も多いのは、東京都の939回で、東京都で行なわれた活動の約90%を占めている。次いで多かったのは埼玉県(241回)、福岡県(221回)、神奈川県(181回)であった。独立リーグの回数が最も多いのは、高知県の157回で高知県で行なわれた活動の約91%を占めている。次いで多かったのは愛媛県(138回)で、徳島県(131回)、熊本県(89回)であった。また、JABAは愛知県(53回)で最も活動が多く、高野連は北海道(58回)、大学連盟は神奈川県(32回)、全軟連は静岡県(31回)、OBクラブはオンライン(48回)で最も活動が多かった。

都道府県×団体(回数) 回数順

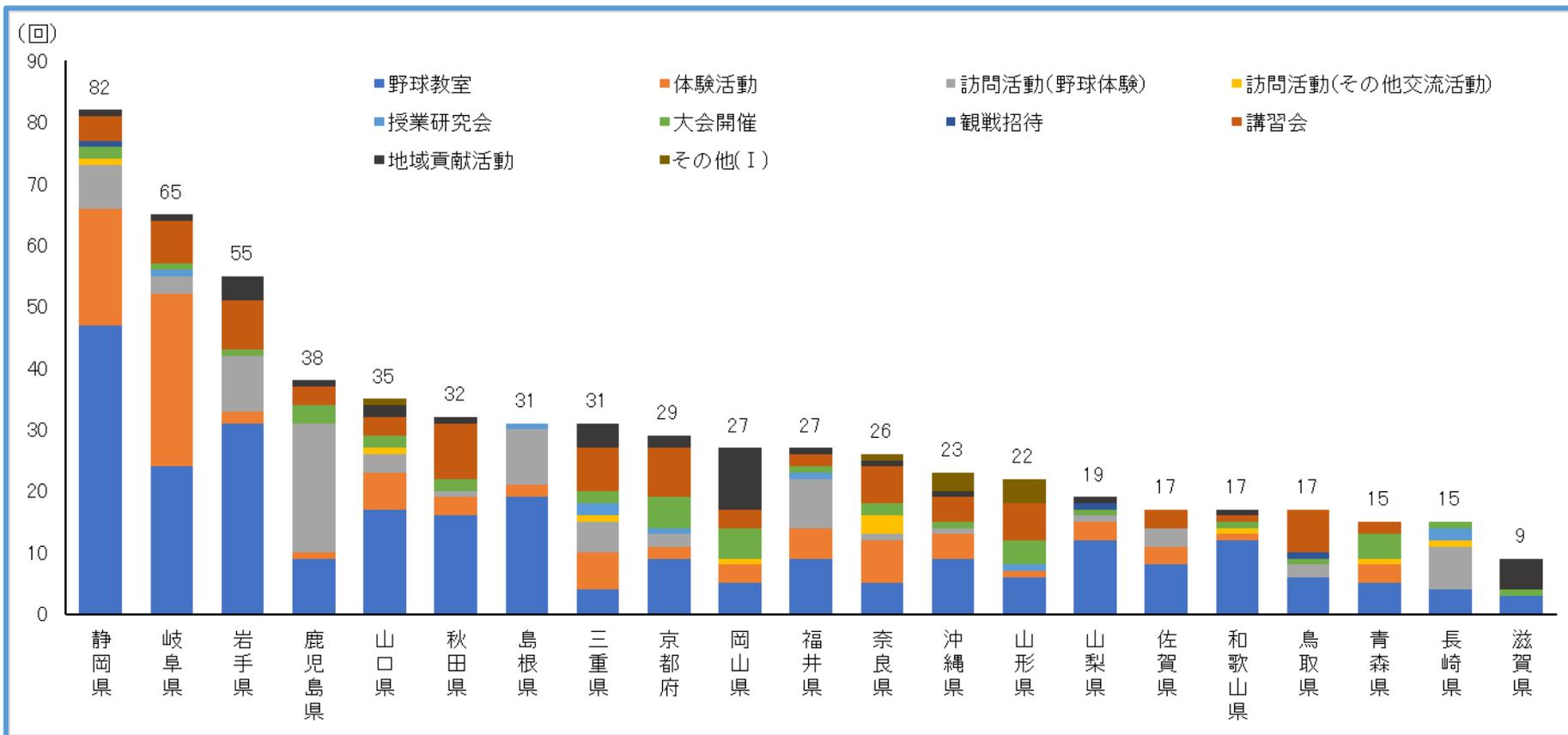
団体	東京都	埼玉県	福岡県	神奈川県	北海道	高知県	千葉県	宮城県	愛媛県	熊本県	徳島県	愛知県	大阪府	兵庫県	長野県	宮崎県	静岡県	栃木県	富山県	茨城県	福島県	岐阜県	新潟県	大分県	岩手県	
NPB	939	241	221	181	68	4	120	101	0	23	0	19	28	34	1	24	5	1	3	5	9	5	0	9	9	
独立リーグ	2	83	17	30	19	157	0	1	138	89	131	0	0	0	36	32	0	62	0	46	18	0	36	19	0	
選手会	5	3	1	3	2	2	3	2	0	2	1	3	9	4	0	1	1	1	0	0	1	0	0	2	3	0
OBクラブ	6	9	5	4	4	1	4	4	1	3	2	3	3	3	3	2	3	2	1	1	2	1	2	2	2	2
WCBF	1	3	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0
名球会	2	2	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
殿堂博物館	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
BFJ	1	3	2	0	2	0	2	2	0	0	0	3	2	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
ボーイズ	2	2	2	1	1	0	1	0	1	1	0	3	4	1	1	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0
リトルシニア	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
ヤングリーグ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ポニー	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フレッシュ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リトル	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
中学生野球連盟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
JABA	13	10	14	6	19	3	19	25	2	10	0	53	36	13	15	5	12	3	9	12	5	7	5	3	7	
学生野球協会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学連盟	21	8	3	32	6	0	3	8	3	0	0	6	3	5	1	0	4	1	0	5	1	6	1	0	2	
高野連	31	23	4	0	58	3	15	19	6	11	2	10	6	18	4	10	25	4	37	3	23	38	6	3	26	
全軟連	2	13	3	9	17	2	2	0	2	15	0	1	0	2	2	15	31	0	20	0	5	3	9	13	6	
大学女子(硬式)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
高校女子(硬式)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
全日本女子(硬式)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	28	1	0	0	1	0	0	1	0	3	0	
合計	1,042	402	274	270	196	172	171	164	156	154	137	101	98	97	91	91	82	75	74	73	71	65	61	56	55	

団体	香川県	広島県	石川県	鹿児島県	群馬県	山口県	秋田県	島根県	三重県	京都府	岡山県	福井県	奈良県	山形県	沖縄県	山梨県	佐賀県	和歌山県	鳥取県	青森県	長崎県	滋賀県	海外	オンライン	合計
NPB	1	10	2	5	5	2	4	1	2	1	0	3	2	4	7	2	6	2	0	5	10	0	0	13	2,137
独立リーグ	36	0	0	0	13	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	974
選手会	3	1	1	3	1	2	3	0	1	2	1	1	1	0	0	1	0	1	1	3	0	2	0	0	77
OBクラブ	3	2	3	2	2	2	2	1	3	1	3	3	2	1	1	1	3	2	1	2	1	0	0	48	165
WCBF	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	28
名球会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	14
殿堂博物館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	16
BFJ	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	27
ボーイズ	0	1	0	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	38
リトルシニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
ヤングリーグ	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	12
ポニー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
フレッシュ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リトル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
中学生野球連盟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
JABA	2	17	7	2	3	11	9	1	16	9	1	1	2	6	9	0	1	2	2	1	0	4	0	1	413
学生野球協会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学連盟	0	5	1	7	1	2	1	0	0	4	0	0	1	0	0	0	3	0	0	2	0	0	0	0	146
高野連	5	2	19	13	8	7	3	27	3	5	5	14	3	10	3	14	2	8	12	2	2	1	0	0	553
全軟連	2	1	7	4	1	0	7	0	5	6	1	4	10	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	223
大学女子(硬式)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高校女子(硬式)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
全日本女子(硬式)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41
合計	54	41	40	38	35	35	32	31	31	29	27	27	26	22	23	19	17	17	17	15	15	9	7	76	4,911

※開催地不明:18事業

プロ球団がない都道府県×活動(回数)

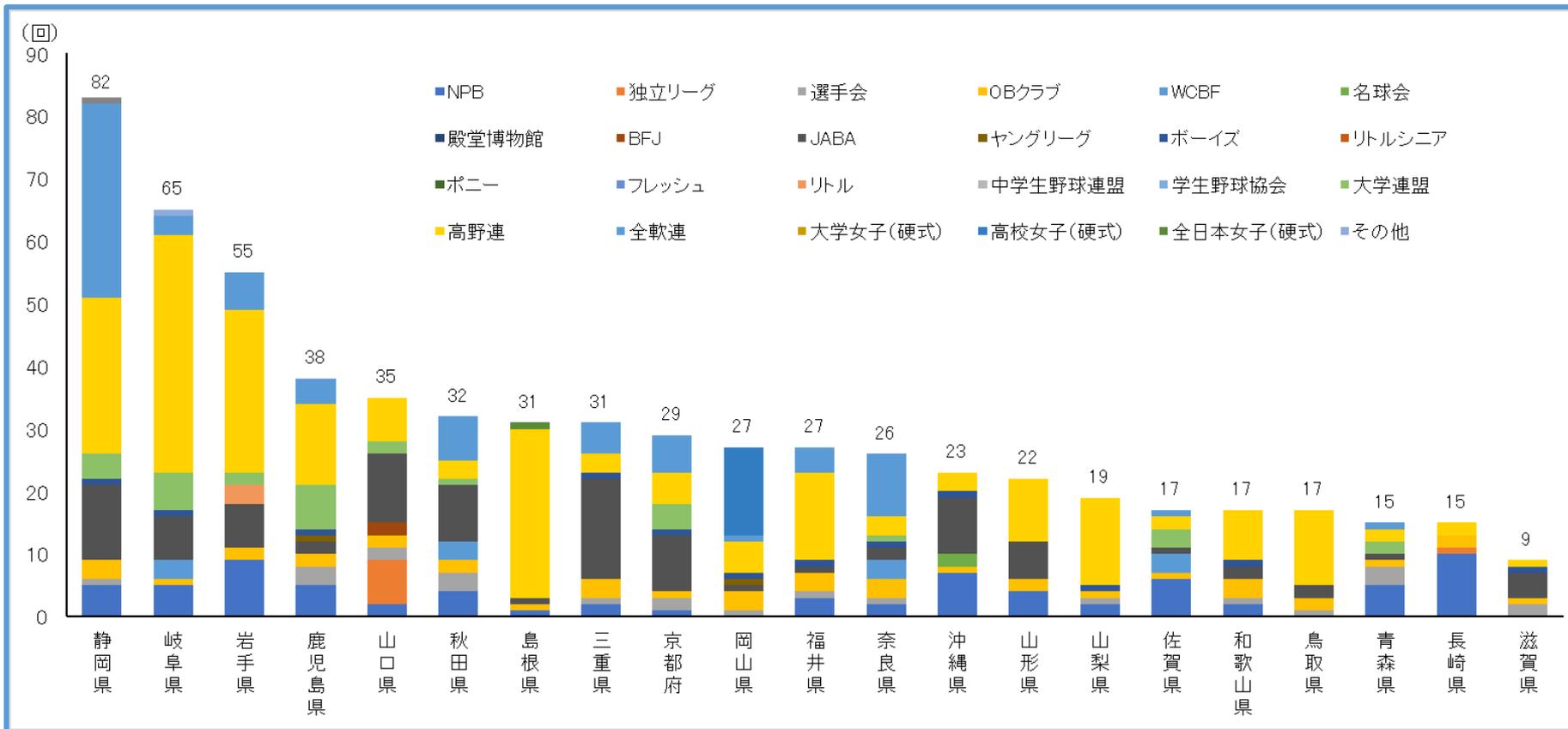
※プロ球団＝2023年時点のNPB、独立リーグ



プロ球団(NPB、独立リーグ)がない都道府県を抽出し、活動の内容と回数をみると、最も活動が行われていたのは静岡県82回であった。次いで、岐阜県65回、岩手県55回、鹿児島県38回の順であった。一方で、滋賀県は年間の活動回数が10回未満であり、山梨県、佐賀県、和歌山県、鳥取県、青森県及び長崎県は20回未満であった。2024年調査を2022年調査と比較すると、プロ球団がない都道府県の中でも活動回数に差が生じている。プロ球団がない都道府県の中で活動回数が多い都道府県では、「野球教室」、「体験活動」、「訪問活動(野球体験)」の割合が比較的大きい。一方で、活動回数が少ない都道府県は、「体験活動」や「訪問活動(野球体験)」の割合が低い傾向にある。そして、プロ球団がある都道府県とプロ球団がない都道府県を比べると、プロ球団がない都道府県は、「野球教室」及び「講習会」の割合が高く、「観戦招待」及び「大会開催」が少ない傾向があった。

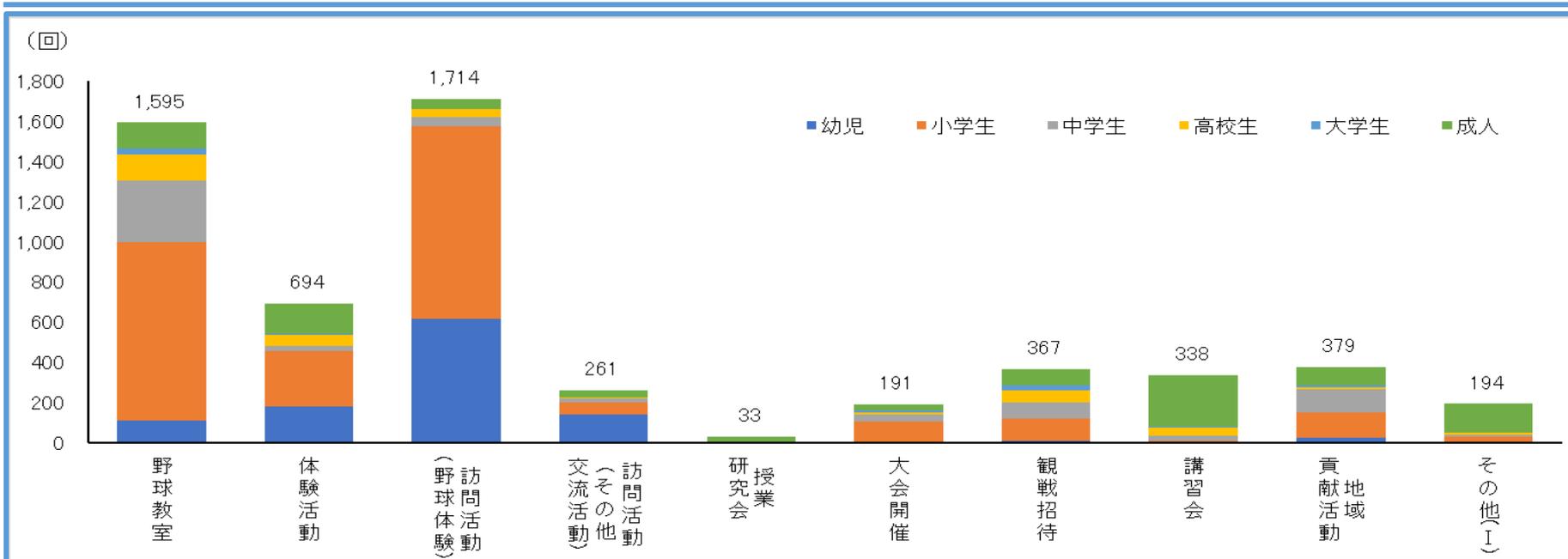
プロ球団がない都道府県×団体(回数)

※プロ球団＝2023年時点のNPB、独立リーグ



プロ球団(NPB、独立リーグ)がない都道府県での活動を実施団体別にをしてみると、活動回数が多い都道府県は活動を実施した団体の種類が多く、活動回数が少ない都道府県では活動を実施した団体の種類が少なく、地域ごとに特定の団体が活動を行なっている。次に、活動団体の内訳を見ると、最も事業が行われている静岡県(82回)では、全軟連及び高野連の活動回数が多かった。その他のプロ球団がない都道府県では、高野連の事業が多い傾向にある。特に岐阜県、島根県、山梨県及び鳥取県では高野連の割合が大きい。また、すべてのプロ球団がない都道府県で活動を行ったのは高野連及びOBクラブであった。岡山県では高校女子(硬式)の活動が顕著であった。2024年調査を2020年調査と比較すると、プロ球団がない都道府県でもNPBの活動が増加している。特に長崎県では、NPBが実施した活動の割合が大きい。

活動対象×活動(回数)

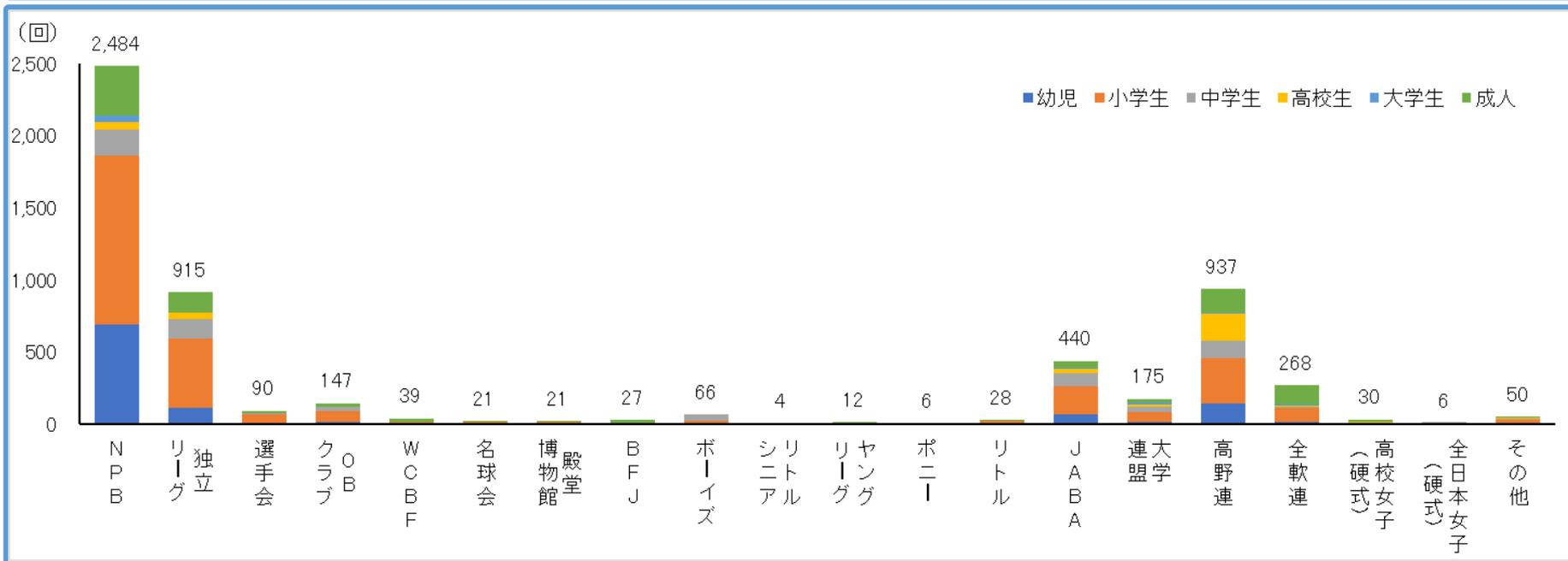


対象	野球教室	体験活動	訪問活動 (野球体験)	訪問活動 (その他交流活動)	授業研究会	大会開催	観戦招待	講習会	地域 貢献活動	その他(I)	合計
幼児	111	181	617	142	0	1	10	1	26	0	1,089
小学生	886	276	958	60	1	106	113	11	127	33	2,559
中学生	307	28	45	20	1	36	80	25	114	9	662
高校生	131	53	42	4	1	10	57	39	12	7	356
大学生	30	4	0	1	0	9	28	6	7	3	85
成人	130	152	52	34	30	29	79	256	93	142	997
合計	1,595	694	1,714	261	33	191	367	338	379	194	5,766

※複数の対象で実施する活動があるため、延べ数となる。対象が特定できない事業は分析の対象から除いている。

活動の対象集団(幼児、小学生、中学生、高校生、大学生、成人)別に実施回数をみると、小学生を対象にした活動が2,559回と全体のおよそ半分を占めた。次いで幼児を対象にした活動(1,089回)、成人を対象にした活動(997回)の順に多い。一方で、大学生を対象にした活動が最も少なかった。これらの結果は、これまでの調査と同様の傾向を示している。また、幼児、小学生に対しては「訪問活動(野球体験)」が最も多く、中学生及び高校生に対しては「野球教室」が、大学生に対しては「観戦招待」が、成人に対しては「講習会」が最も多かった。低年齢層に対しては野球未経験者を想定した活動が、中学生以上の年齢層には野球経験者を想定した活動が多い傾向にあった。

活動対象×団体(回数)



対象	NPB	独立リーグ	選手会	OBクラブ	WCBF	名球会	殿堂博物館	BFJ	ボーイズ	リトルシニア	ヤングリーグ	ポニー	リトル	JABA	大学連盟	高野連	全軟連	高校女子(硬式)	全日本女子(硬式)	その他	合計
幼児	691	117	1	18	3	3	0	0	0	0	0	0	10	68	14	143	15	1	3	5	1,092
小学生	1,170	480	70	72	9	9	12	0	24	0	0	0	14	194	73	318	95	2	2	24	2,568
中学生	180	136	6	28	0	3	0	0	42	1	0	0	0	88	36	118	14	0	1	12	665
高校生	53	40	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	34	14	191	5	14	0	2	358
大学生	45	2	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	8	16	3	5	2	0	1	86
成人	345	140	11	27	27	3	8	27	0	3	12	6	3	48	22	164	134	11	0	6	997
合計	2,484	915	90	147	39	21	21	27	66	4	12	6	28	440	175	937	268	30	6	50	5,766

※複数の対象で実施する活動があるため、延べ数となる。対象が特定できない事業は分析の対象から除いている。

対象集団別に団体の活動回数をみると、NPB、独立リーグ、名球会、JABA、大学連盟、高野連及び全軟連はすべてのカテゴリーで活動を行っている。NPBは幼児、小学生及び成人に対する活動回数が多く、子どもと保護者が一緒に参加する活動が多いことが要因と考えられる。独立リーグは小学生に対する活動が多く、これは「野球教室」の増加に伴う結果と考えられる。高野連及び大学連盟はそれぞれが統括する年代に対する活動が最も多かった。選手会は小学生に対する活動が、OBクラブは中学生に対する活動が、BFJは成人に対する活動が最も多かった。

活動対象×活動・団体(人数)

対象	野球教室	体験活動	訪問活動 (野球体験)	訪問活動 (その他交流活動)	授業 研究会	大会開催	観戦招待	講習会	地域貢献 活動	その他(I)	合計
幼児	3,958	7,659	37,195	8,330	0	20	13,317	50	3,273	0	73,802
小学生	63,833	19,352	75,045	9,822	100	30,253	123,458	1,228	17,560	4,936	345,587
中学生	19,369	2,134	2,018	1,281	30	18,279	28,648	1,583	27,286	705	101,333
高校生	6,235	2,038	1,871	155	60	2,472	8,624	2,964	402	607	25,428
大学生	396	88	0	41	0	640	3,285	513	650	314	5,927
成人	5,121	7,226	1,977	1,731	1,892	4,181	92,812	17,373	3,598	6,969	142,880
合計	98,912	38,497	118,106	21,360	2,082	55,845	270,144	23,711	52,769	13,531	694,957

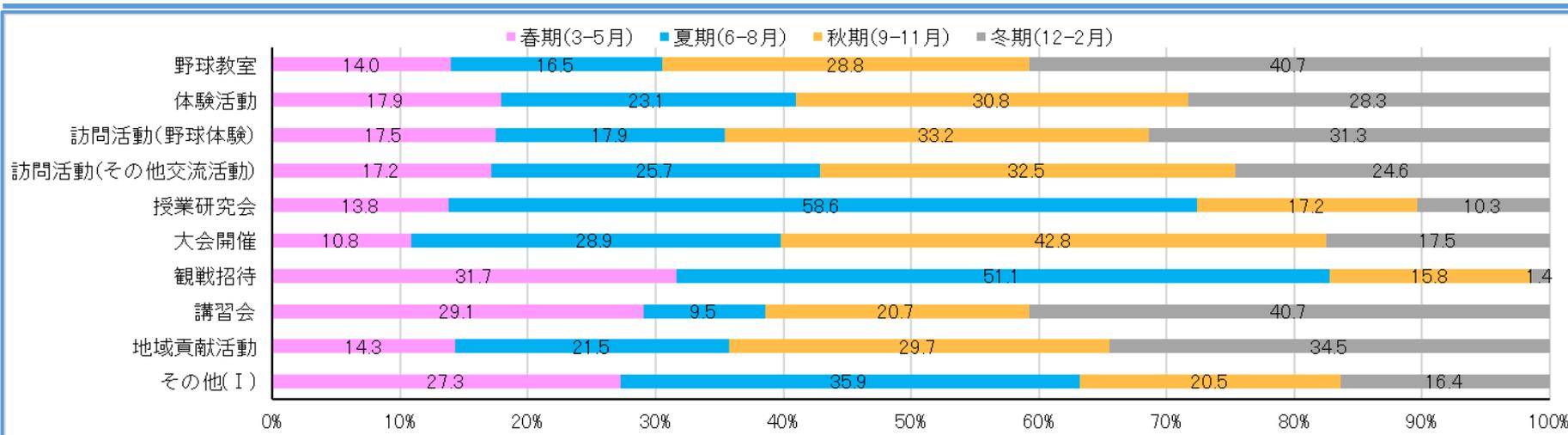
※対象が特定できない事業は分析の対象から除いている。

対象	NPB	独立 リーグ	選手会	OB クラブ	WCBF	名球会	殿堂 博物館	BFJ	ボーイズ	リトル シニア	ヤング リーグ	ポニー	リトル	JABA	大学 連盟	高野連	全軟連	高校 女子 (硬式)	全日本 女子 (硬式)	その他	合計
幼児	59,235	4,405	20	549	59	0	0	0	0	0	0	0	52	2,521	687	4,164	415	30	160	1,505	73,802
小学生	236,883	21,923	12,240	10,247	1,074	2,113	830	0	2,217	0	0	0	553	17,498	6,858	17,973	12,303	35	40	2,800	345,587
中学生	45,991	3,610	1,045	4,207	0	94	0	0	23,692	102	0	0	0	6,872	2,551	11,362	837	0	20	950	101,333
高校生	9,513	1,094	430	0	0	24	0	0	0	0	0	0	50	2,004	566	11,111	43	505	0	88	25,428
大学生	3,226	54	0	134	0	20	256	0	0	0	0	0	0	476	1,371	30	236	84	0	40	5,927
成人	103,668	9,101	1,290	750	619	244	200	2,045	0	616	905	1,130	100	2,740	724	7,889	10,052	72	0	735	142,880
合計	458,516	40,187	15,025	15,887	1,752	2,495	1,286	2,045	25,909	718	905	1,130	755	32,111	12,757	52,529	23,886	726	220	6,118	694,957

※対象が特定できない事業は分析の対象から除いている。

対象集団別に活動への参加人数をみると、小学生の事業参加人数が34万5,587人と最も多く、2022年調査の結果と比較すると約2倍に増加している。ただし、2020年調査と比較すると約8万人減少している。次いで参加人数が多かったのは成人(14万2,880人)、中学生(10万1,333人)の順であった。2020年調査と比較すると、成人の参加人数は約8万人少なく、一方で中学生の参加人数は約3万人増加した。活動別に参加者人数をみると「観戦招待」への参加者が最も多く、どの年代も満遍なく参加している。成人に対する活動では「観戦招待」及び「講習会」への参加人数が多いが、2022年調査と比較すると、「体験活動」、「訪問活動(野球体験)」、及び「訪問活動(その他交流活動)」への参加人数の増加が目立つ。団体別にみると、幼児、小学生、中学生、大学生及び成人は、NPBの活動への参加者が最も多い。特に小学生の参加人数はコロナ禍前の2020年調査よりも増加している。特徴的な団体を挙げると、ポニー及びヤングリーグでは、子どもの野球環境を維持するための講習会が成人に対して行われている。

活動時期×活動(回数&割合)

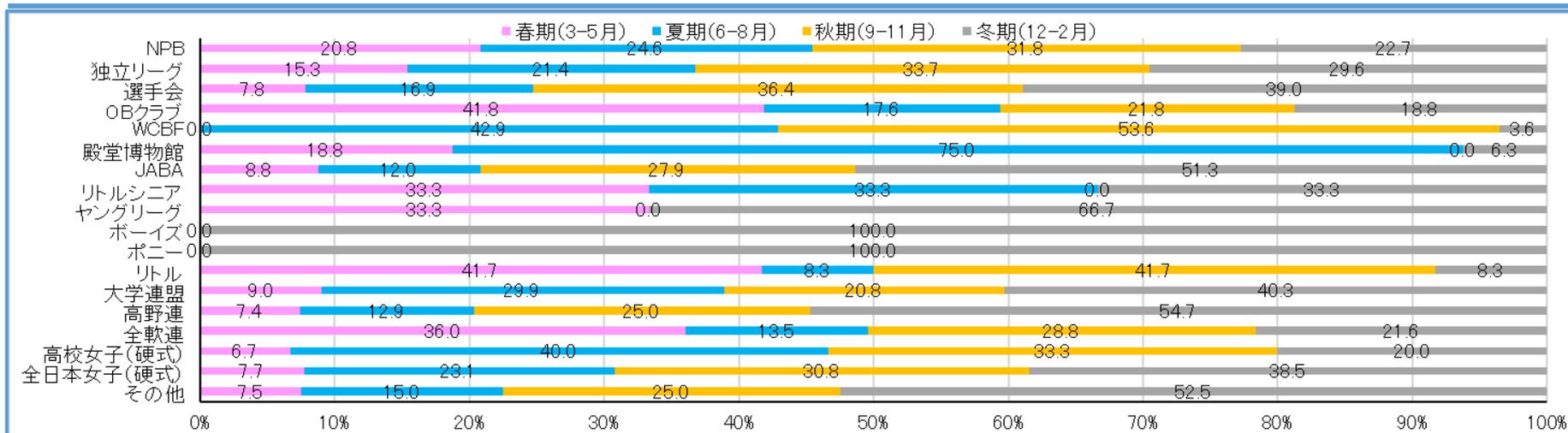


時期	野球教室	体験活動	訪問活動 (野球体験)	訪問活動 (その他交流活動)	授業研究会	大会開催	観戦招待	講習会	地域貢献 活動	その他(I)	合計	
春期	3月	44	21	76	19	0	7	4	48	26	16	261
	4月	35	31	66	10	0	6	19	23	20	24	234
	5月	91	34	140	17	4	5	21	9	21	23	365
	小計	170	86	282	46	4	18	44	80	67	63	860
夏期	6月	39	37	159	20	3	10	18	15	33	23	357
	7月	69	34	89	27	4	17	27	7	34	30	338
	8月	95	40	41	22	10	21	26	4	32	26	317
	小計	203	111	289	69	17	48	71	26	99	79	1,012
秋期	9月	63	42	140	24	2	11	19	3	23	24	351
	10月	106	46	189	35	2	28	2	17	49	11	485
	11月	180	61	206	28	1	33	1	46	65	18	639
	小計	349	149	535	87	5	72	22	66	137	53	1,475
冬期	12月	258	81	246	41	0	28	1	48	97	18	818
	1月	123	24	129	10	2	2	0	32	25	11	358
	2月	116	31	130	15	1	0	1	35	37	9	375
	小計	497	136	505	66	3	30	2	115	159	38	1,551
合計	1,219	482	1,611	268	29	168	139	287	462	233	4,898	

※実施時期不明: 31を除く

季節ごとの実施状況を見ると、最も多く活動が行われた「訪問活動(野球体験)」及び「野球教室」は秋期と冬期に多く行われている。一方で、「授業研究会」及び「観戦招待」は夏期に行われる割合が高い。「観戦招待」は春期の割合も高く、いわゆる野球のシーズン中に行われていることが表れている。2022年調査と比較すると、「訪問活動(その他交流活動)」及び「地域貢献活動」は冬期の割合が減少し、季節に関わらず1年中行われるようになった。月別に活動回数をみると、12月が最も多く、次いで11月、10月の順に多かった。

活動時期×団体(回数&割合)



時期	NPB	独立リーグ	選手会	OBクラブ	WCBF	名球会	殿堂博物館	BFJ	JABA	リトルシニア	ヤングリーグ	ボーイズ	ポニー	リトル	大学連盟	高野連	全軟連	高校女子(硬式)	全日本女子(硬式)	その他	合計	
春期	3月	86	61	2	7	0	2	1	3	22	0	2	0	0	8	21	43	0	0	3	261	
	4月	139	41	2	8	0	0	0	0	7	0	2	0	0	2	5	24	0	1	0	234	
	5月	218	47	2	54	0	0	2	0	7	1	0	0	0	3	15	13	1	0	0	365	
	小計	443	149	6	69	0	2	3	3	36	1	4	0	0	5	13	41	80	1	1	3	860
夏期	6月	219	54	3	12	6	1	1	0	15	0	0	0	0	9	16	15	3	0	3	357	
	7月	178	86	9	9	0	2	4	0	8	0	0	0	0	9	23	8	0	2	0	338	
	8月	128	68	1	8	6	0	7	0	26	1	0	0	1	25	32	7	3	1	3	317	
	小計	525	208	13	29	12	3	12	0	49	1	0	0	0	1	43	71	30	6	3	6	1,012
秋期	9月	247	44	7	9	6	1	0	0	16	0	0	0	0	1	4	6	7	1	1	1	351
	10月	231	117	9	10	7	0	0	2	34	0	0	0	0	4	43	21	2	2	1	485	
	11月	201	166	12	17	2	2	0	15	64	0	0	0	0	2	22	89	36	2	1	8	639
	小計	679	327	28	36	15	3	0	17	114	0	0	0	0	5	30	138	64	5	4	10	1,475
冬期	12月	219	121	27	14	1	5	1	4	128	0	1	43	0	1	46	165	20	3	2	17	818
	1月	123	72	3	7	0	1	0	1	56	1	3	0	0	6	68	15	0	2	0	358	
	2月	143	94	0	10	0	0	0	0	26	0	4	0	5	6	69	13	0	1	4	375	
	小計	485	287	30	31	1	6	1	5	210	1	8	43	5	1	58	302	48	3	5	21	1,551
合計	2,132	971	77	165	28	14	16	25	409	3	12	43	5	12	144	552	222	15	13	40	4,898	

※実施時期不明: 31を除く

団体に分けて季節ごとの状況を見ると、NPBは季節にかかわらず1年を通じて事業が行われている。独立リーグ及びWCBFは、秋期に活動が集中している。一方、OBクラブは春期に活動が集中しており、プロ野球関係団体でも活動時期が大きく異なる結果となった。名球会、ボーイズ、ポニー、ヤングリーグ、大学野球及び高野連の活動は、冬期の割合が大きい。BFJは秋期に活動の割合が大きく、全軟連は春期の活動の割合が大きい。高校女子(硬式)は夏期及び秋期に活動が集中し、全日本女子(硬式)は秋期及び冬期に活動が集中している。

活動時期×活動×団体(回数)①

団体	季節	野球教室	体験活動	訪問活動 (野球体験)	訪問活動 (その他交流活動)	授業研究会	大会開催	観戦招待	講習会	地域貢献活動	その他(I)	合計
NPB	春期(3-5月)	52	31	253	20	4	3	25	1	28	26	443
	夏期(6-8月)	61	47	246	38	17	9	41	1	31	34	525
	秋期(9-11月)	89	40	436	46	4	11	15	1	18	19	679
	冬期(12-2月)	66	10	325	36	3	2	0	6	28	9	485
	合計	268	128	1,260	140	28	25	81	9	105	88	2,132
独立リーグ	春期(3-5月)	37	9	21	17	0	2	17	3	28	15	149
	夏期(6-8月)	64	17	19	23	0	3	22	1	43	16	208
	秋期(9-11月)	92	35	63	27	0	2	5	0	90	13	327
	冬期(12-2月)	99	15	85	12	0	3	1	4	61	7	287
	合計	292	76	188	79	0	10	45	8	222	51	971
選手会	春期(3-5月)	1	2	0	0	0	3	0	0	0	0	6
	夏期(6-8月)	1	1	1	1	0	9	0	0	0	0	13
	秋期(9-11月)	0	0	4	1	0	22	0	0	1	0	28
	冬期(12-2月)	1	0	14	10	0	4	1	0	0	0	30
	合計	3	3	19	12	0	38	1	0	1	0	77
OBクラブ	春期(3-5月)	50	0	0	4	0	0	0	0	0	15	69
	夏期(6-8月)	9	0	0	5	0	1	0	0	0	14	29
	秋期(9-11月)	11	0	0	13	0	4	0	0	0	8	36
	冬期(12-2月)	10	1	0	2	0	4	0	3	0	11	31
	合計	80	1	0	24	0	9	0	3	0	48	165
WCBF	春期(3-5月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	夏期(6-8月)	2	0	6	0	0	0	0	4	0	0	12
	秋期(9-11月)	3	0	6	0	0	0	0	6	0	0	15
	冬期(12-2月)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	合計	5	0	13	0	0	0	0	10	0	0	28
名球会	春期(3-5月)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	夏期(6-8月)	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	秋期(9-11月)	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	冬期(12-2月)	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	6
	合計	10	1	0	0	0	2	0	0	1	0	14
殿堂博物館	春期(3-5月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	夏期(6-8月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	12
	秋期(9-11月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	冬期(12-2月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	16

活動時期×活動×団体(回数)②

団体	季節	野球教室	体験活動	訪問活動 (野球体験)	訪問活動 (その他交流活動)	授業研究会	大会開催	観戦招待	講習会	地域貢献活動	その他(I)	合計
BFJ	春期(3-5月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	夏期(6-8月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	秋期(9-11月)	0	0	0	0	0	0	0	9	0	8	17
	冬期(12-2月)	0	0	0	0	0	0	0	3	0	2	5
	合計	0	0	0	0	0	0	0	12	0	13	25
JABA	春期(3-5月)	11	5	5	4	0	0	0	5	6	0	36
	夏期(6-8月)	13	10	6	1	0	4	2	1	12	0	49
	秋期(9-11月)	64	11	14	0	0	10	0	1	14	0	114
	冬期(12-2月)	123	18	29	5	0	7	0	12	13	3	210
	合計	211	44	54	10	0	21	2	19	45	3	409
ヤングリーグ	春期(3-5月)	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
	夏期(6-8月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	秋期(9-11月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	冬期(12-2月)	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	8
	合計	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	12
ボーイズ	春期(3-5月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	夏期(6-8月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	秋期(9-11月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	冬期(12-2月)	0	0	0	0	0	0	0	0	43	0	43
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	43	0	43
リトルシニア	春期(3-5月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	夏期(6-8月)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	秋期(9-11月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	冬期(12-2月)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	合計	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
ポニー	春期(3-5月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	夏期(6-8月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	秋期(9-11月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	冬期(12-2月)	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5
	合計	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5
リトル	春期(3-5月)	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	夏期(6-8月)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	秋期(9-11月)	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	冬期(12-2月)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	合計	0	7	0	0	0	2	0	0	0	0	9

活動時期×活動×団体(回数)③

団体	季節	野球教室	体験活動	訪問活動 (野球体験)	訪問活動 (その他交流活動)	授業研究会	大会開催	観戦招待	講習会	地域貢献活動	その他(I)	合計
大学連盟	春期(3-5月)	5	3	0	1	0	0	2	1	1	0	13
	夏期(6-8月)	21	5	1	1	0	6	1	2	6	0	43
	秋期(9-11月)	14	7	0	0	0	2	1	1	5	0	30
	冬期(12-2月)	33	4	0	0	0	6	0	5	9	1	58
	合計	73	19	1	2	0	14	4	9	21	1	144
高野連	春期(3-5月)	11	18	3	0	0	1	0	8	0	0	41
	夏期(6-8月)	24	20	6	0	0	3	5	12	1	0	71
	秋期(9-11月)	66	35	6	0	1	0	0	28	1	1	138
	冬期(12-2月)	141	65	45	1	0	1	0	45	1	3	302
	合計	242	138	60	1	1	5	5	93	3	4	552
全軟連	春期(3-5月)	2	11	0	0	0	8	0	57	1	1	80
	夏期(6-8月)	0	9	2	0	0	10	0	5	1	3	30
	秋期(9-11月)	6	12	4	0	0	16	1	20	2	3	64
	冬期(12-2月)	12	11	3	0	0	0	0	21	0	1	48
	合計	20	43	9	0	0	34	1	103	4	8	222
全日本女子 (硬式)	春期(3-5月)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	夏期(6-8月)	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	3
	秋期(9-11月)	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	4
	冬期(12-2月)	0	1	2	0	0	0	0	0	2	0	5
	合計	0	1	4	0	0	0	0	0	8	0	13
高校女子 (硬式)	春期(3-5月)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	夏期(6-8月)	2	0	0	0	0	1	0	0	3	0	6
	秋期(9-11月)	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0	5
	冬期(12-2月)	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	3
	合計	2	1	0	0	0	3	0	0	9	0	15
その他	春期(3-5月)	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	夏期(6-8月)	3	1	1	0	0	1	0	0	0	0	6
	秋期(9-11月)	2	5	1	0	0	1	0	0	0	1	10
	冬期(12-2月)	7	10	1	0	0	1	0	2	0	0	21
	合計	12	18	3	0	0	4	0	2	0	1	40

活動時期×活動×団体(割合)①

団体	季節	野球教室	体験活動	訪問活動 (野球体験)	訪問活動 (その他交流活動)	授業研究会	大会開催	観戦招待	講習会	地域貢献活動	その他(I)	合計
NPB	春期(3-5月)	2.4	1.5	11.9	0.9	0.2	0.1	1.2	0.0	1.3	1.2	20.8
	夏期(6-8月)	2.9	2.2	11.5	1.8	0.8	0.4	1.9	0.0	1.5	1.6	24.6
	秋期(9-11月)	4.2	1.9	20.5	2.2	0.2	0.5	0.7	0.0	0.8	0.9	31.8
	冬期(12-2月)	3.1	0.5	15.2	1.7	0.1	0.1	0.0	0.3	1.3	0.4	22.7
	合計	12.6	6.0	59.1	6.6	1.3	1.2	3.8	0.4	4.9	4.1	100.0
独立リーグ	春期(3-5月)	3.8	0.9	2.2	1.8	0.0	0.2	1.8	0.3	2.9	1.5	15.3
	夏期(6-8月)	6.6	1.8	2.0	2.4	0.0	0.3	2.3	0.1	4.4	1.6	21.4
	秋期(9-11月)	9.5	3.6	6.5	2.8	0.0	0.2	0.5	0.0	9.3	1.3	33.7
	冬期(12-2月)	10.2	1.5	8.8	1.2	0.0	0.3	0.1	0.4	6.3	0.7	29.6
	合計	30.1	7.8	19.4	8.1	0.0	1.0	4.6	0.8	22.9	5.3	100.0
選手会	春期(3-5月)	1.3	2.6	0.0	0.0	0.0	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	7.8
	夏期(6-8月)	1.3	1.3	1.3	1.3	0.0	11.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.9
	秋期(9-11月)	0.0	0.0	5.2	1.3	0.0	28.6	0.0	0.0	1.3	0.0	36.4
	冬期(12-2月)	1.3	0.0	18.2	13.0	0.0	5.2	1.3	0.0	0.0	0.0	39.0
	合計	3.9	3.9	24.7	15.6	0.0	49.4	1.3	0.0	1.3	0.0	100.0
OBクラブ	春期(3-5月)	30.3	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	41.8
	夏期(6-8月)	5.5	0.0	0.0	3.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	8.5	17.6
	秋期(9-11月)	6.7	0.0	0.0	7.9	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	4.8	21.8
	冬期(12-2月)	6.1	0.6	0.0	1.2	0.0	2.4	0.0	1.8	0.0	6.7	18.8
	合計	48.5	0.6	0.0	14.5	0.0	5.5	0.0	1.8	0.0	29.1	100.0
WCBF	春期(3-5月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	夏期(6-8月)	7.1	0.0	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	42.9
	秋期(9-11月)	10.7	0.0	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4	0.0	0.0	53.6
	冬期(12-2月)	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6
	合計	17.9	0.0	46.4	0.0	0.0	0.0	0.0	35.7	0.0	0.0	100.0
名球会	春期(3-5月)	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	14.3
	夏期(6-8月)	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4
	秋期(9-11月)	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4
	冬期(12-2月)	35.7	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9
	合計	71.4	7.1	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	7.1	0.0	100.0
殿堂博物館	春期(3-5月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8	18.8
	夏期(6-8月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	75.0
	秋期(9-11月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	冬期(12-2月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3
	合計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0

活動時期×活動×団体(割合)②

団体	季節	野球教室	体験活動	訪問活動 (野球体験)	訪問活動 (その他交流活動)	授業研究会	大会開催	観戦招待	講習会	地域貢献活動	その他(I)	合計
BFJ	春期(3-5月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	12.0
	夏期(6-8月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	秋期(9-11月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.0	0.0	32.0	68.0
	冬期(12-2月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	8.0	20.0
	合計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	48.0	0.0	52.0	100.0
JABA	春期(3-5月)	2.7	1.2	1.2	1.0	0.0	0.0	0.0	1.2	1.5	0.0	8.8
	夏期(6-8月)	3.2	2.4	1.5	0.2	0.0	1.0	0.5	0.2	2.9	0.0	12.0
	秋期(9-11月)	15.6	2.7	3.4	0.0	0.0	2.4	0.0	0.2	3.4	0.0	27.9
	冬期(12-2月)	30.1	4.4	7.1	1.2	0.0	1.7	0.0	2.9	3.2	0.7	51.3
	合計	51.6	10.8	13.2	2.4	0.0	5.1	0.5	4.6	11.0	0.7	100.0
ヤングリーグ	春期(3-5月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
	夏期(6-8月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	秋期(9-11月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	冬期(12-2月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	66.7
	合計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
ボーイズ	春期(3-5月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	夏期(6-8月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	秋期(9-11月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	冬期(12-2月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
	合計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
リトルシニア	春期(3-5月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	夏期(6-8月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	秋期(9-11月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	冬期(12-2月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	合計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0
ポニー	春期(3-5月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	夏期(6-8月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	秋期(9-11月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	冬期(12-2月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
	合計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
リトル	春期(3-5月)	0.0	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4
	夏期(6-8月)	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
	秋期(9-11月)	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	冬期(12-2月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
	合計	0.0	77.8	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

活動時期×活動×団体(割合)③

団体	季節	野球教室	体験活動	訪問活動 (野球体験)	訪問活動 (その他交流活動)	授業研究会	大会開催	観戦招待	講習会	地域貢献活動	その他(I)	合計
大学連盟	春期(3-5月)	3	2	0	1	0	0	1	1	1	0	9
	夏期(6-8月)	15	3	1	1	0	4	1	1	4	0	30
	秋期(9-11月)	10	5	0	0	0	1	1	1	3	0	21
	冬期(12-2月)	23	3	0	0	0	4	0	3	6	1	40
	合計	51	13	1	1	0	10	3	6	15	1	100
高野連	春期(3-5月)	2	3	1	0	0	0	0	1	0	0	7
	夏期(6-8月)	4	4	1	0	0	1	1	2	0	0	13
	秋期(9-11月)	12	6	1	0	0	0	0	5	0	0	25
	冬期(12-2月)	26	12	8	0	0	0	0	8	0	1	55
	合計	44	25	11	0	0	1	1	17	1	1	100
全軟連	春期(3-5月)	1	5	0	0	0	4	0	26	0	0	36
	夏期(6-8月)	0	4	1	0	0	5	0	2	0	1	14
	秋期(9-11月)	3	5	2	0	0	7	0	9	1	1	29
	冬期(12-2月)	5	5	1	0	0	0	0	9	0	0	22
	合計	9	19	4	0	0	15	0	46	2	4	100
全日本女子 (硬式)	春期(3-5月)	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	8
	夏期(6-8月)	0	0	8	0	0	0	0	0	15	0	23
	秋期(9-11月)	0	0	8	0	0	0	0	0	23	0	31
	冬期(12-2月)	0	8	15	0	0	0	0	0	15	0	38
	合計	0	8	31	0	0	0	0	0	62	0	100
高校女子 (硬式)	春期(3-5月)	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7
	夏期(6-8月)	13	0	0	0	0	7	0	0	20	0	40
	秋期(9-11月)	0	0	0	0	0	13	0	0	20	0	33
	冬期(12-2月)	0	7	0	0	0	0	0	0	13	0	20
	合計	13	7	0	0	0	20	0	0	60	0	100
その他	春期(3-5月)	0	5	0	0	0	3	0	0	0	0	8
	夏期(6-8月)	8	3	3	0	0	3	0	0	0	0	15
	秋期(9-11月)	5	13	3	0	0	3	0	0	0	3	25
	冬期(12-2月)	18	25	3	0	0	3	0	5	0	0	53
	合計	30	45	8	0	0	10	0	5	0	3	100

訪問活動のみ(対象者×団体)

【回数】

対象	NPB	独立リーグ	選手会	OBクラブ	WCBF	JABA	大学連盟	高野連	全軟連	全日本女子 (硬式)	その他	合計
幼児	595	67	1	17	3	27	0	45	0	3	1	759
小学生	811	106	27	4	4	32	0	20	8	1	3	1,016
中学生	26	26	3	3	0	3	0	3	1	0	0	65
高校生	14	1	1	0	0	2	1	27	0	0	0	46
大学生	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
成人	26	13	7	0	12	4	3	21	0	0	0	86
合計	1,473	213	39	24	19	68	4	116	9	4	4	1,973

※複数の対象で実施する活動があるため、延べ数となる。

【人数】

対象	NPB	独立リーグ	選手会	OBクラブ	WCBF	JABA	大学連盟	高野連	全軟連	全日本女子 (硬式)	その他	合計
幼児	38,439	2,590	20	510	59	1,100	0	1,256	0	160	1,391	45,525
小学生	74,660	3,909	1,390	425	328	2,393	0	759	708	30	145	84,747
中学生	1,184	692	105	396	0	70	0	810	42	0	0	3,299
高校生	658	20	30	0	0	170	30	1,118	0	0	0	2,026
大学生	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41
成人	1,913	369	960	0	220	78	70	98	0	0	0	3,708
合計	116,895	7,580	2,505	1,331	607	3,811	100	4,041	750	190	1,536	139,346

※不特定的人数(29,146人)を除く

「訪問活動」について対象者別及び団体別に事業回数と参加人数を分析すると、回数及び人数ともにNPBが最も多く、回数は全体の約75%、参加人数は約84%を占めている。NPBの対象は、ほぼ幼児と小学生であった。2022年調査では、大学生を対象とした活動は行われなかったが、2024年調査では1回活動が行われた。2024年調査を2022年調査と比較すると、参加回数及び参加人数が増加した。しかし、コロナ禍前の2020年調査と比較すると、幼児、小学生、中学生及び成人に対する活動回数は増加しているが、高校生及び大学生に対する活動回数は減少している。また、参加人数は幼児、小学生、大学生及び成人では減少し、中学生及び高校生は増加している。

地域貢献活動のみ

団体	回数
NPB	105
独立リーグ	222
選手会	1
名球会	1
ボーイズ	43
JABA	46
大学連盟	23
高野連	3
全軟連	4
高校女子 (硬式)	9
全日本女子 (硬式)	8
合計	465

都道府県	回数	都道府県	回数	都道府県	回数
東京都	80	千葉県	8	石川県	2
高知県	70	熊本県	7	山口県	2
愛媛県	46	宮城県	6	京都府	2
神奈川県	35	大阪府	6	静岡県	1
埼玉県	22	茨城県	6	岐阜県	1
香川県	21	広島県	5	鹿児島県	1
徳島県	18	滋賀県	5	秋田県	1
宮崎県	17	栃木県	4	福井県	1
兵庫県	15	岩手県	4	奈良県	1
北海道	12	三重県	4	沖縄県	1
長野県	12	大分県	3	山梨県	1
福岡県	11	群馬県	3	和歌山県	1
岡山県	10	富山県	2	オンライン	1
愛知県	9	福島県	2	合計	459

※都道府県(活動なし):新潟県、島根県、佐賀県、山形県、鳥取県、青森県、長崎県
不明:6回

季節		回数
春期	3月	26
	4月	20
	5月	21
	小計	67
夏期	6月	33
	7月	34
	8月	32
	小計	99
秋期	9月	23
	10月	49
	11月	65
	小計	137
冬期	12月	97
	1月	25
	2月	37
	小計	159
合計		462

※季節不明:3回

「地域貢献活動」について、団体別・季節別・都道府県別の回数をみると、全体で465回の活動が行われ、2022年調査よりも活動回数は約300回増加したが、コロナ禍前の2020年調査よりも約200回減少している。団体別では、独立リーグが222回で最も多く、次いでNPB(105回)、JABA(46回)、ボーイズ(43回)、大学連盟(23回)の順に多かった。都道府県別にみると、東京都が80回と最も多く、次いで高知県(70回)、愛媛県(46回)、神奈川県(35回)、埼玉県(22回)の順であった。地域貢献活動が多く行われている都道府県は、プロ球団がある都道府県であった。一方で、地域貢献活動が行われていない都道府県が7県あった。季節では冬期(12-2月)の事業が最も多く、春期(3-5月)が最も少ない。月別にみると、12月が最も多く97回で、4月が最も少ない20回であった。

障がい者のための活動

【障がい者】

活動数	18	人数	808
-----	----	----	-----

団体	NPB	独立リーグ	高野連
	11	6	1

活動内容	体験活動	訪問活動 (野球体験)	訪問活動 (その他交流活動)	観戦招待	大会開催
	1	12	3	1	1

季節	春期				夏期			
	3月	4月	5月	小計	6月	7月	8月	小計
	1	0	1	2	2	1	0	3
	秋季				冬期			
	9月	10月	11月	小計	12月	1月	2月	小計
2	2	1	5	7	1	0	8	

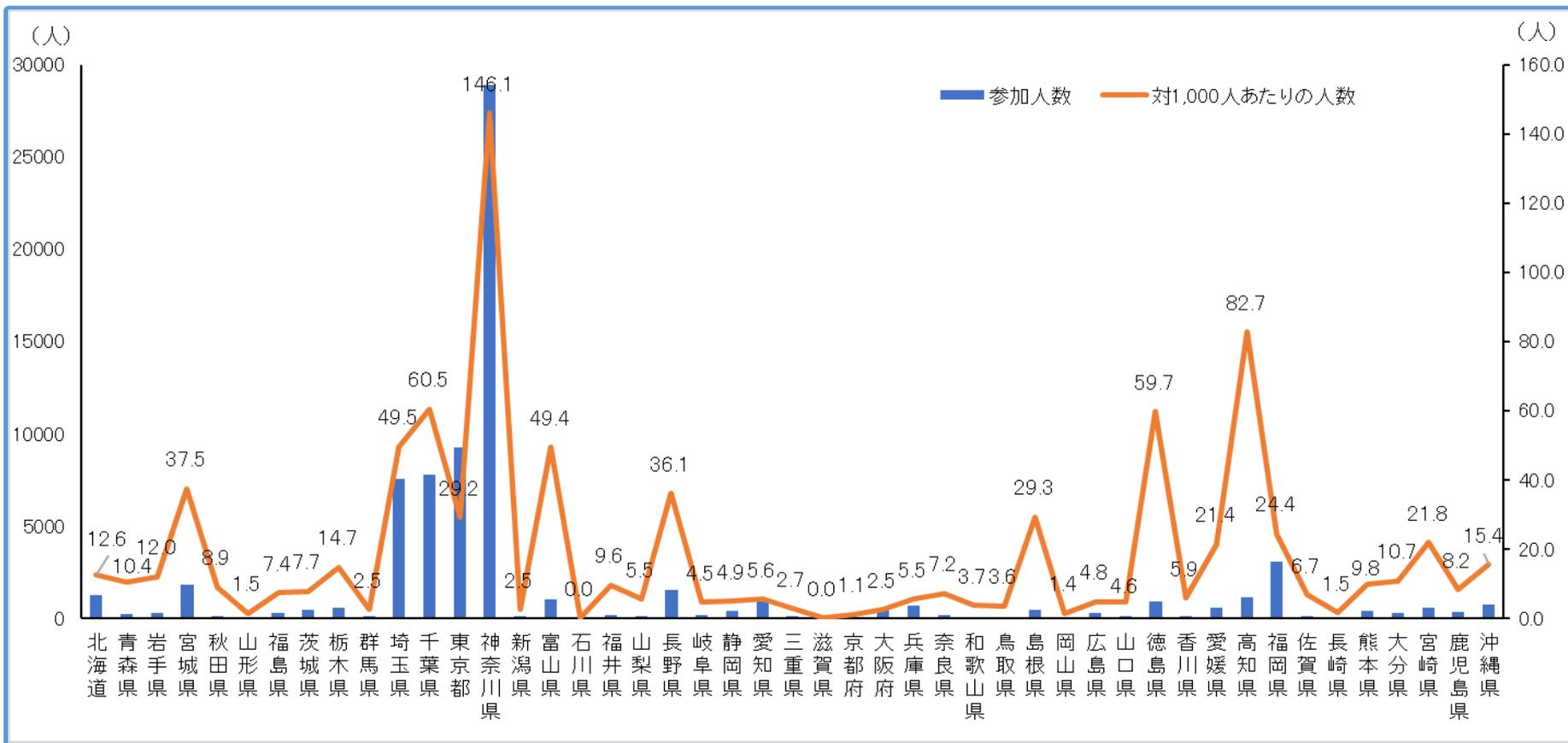
都道府県	埼玉県	東京都	北海道	愛媛県	佐賀県	千葉県
	1	3	2	6	1	5

障がい者に対する活動は18回行われており、参加人数は808人であった。活動の実施団体はNPBが11回と最も多く、次いで独立リーグ(6回)、高野連(1回)の順であった。2022年調査と比較すると活動団体の数は減少したが、参加人数は308人増加した。活動内容は「体験活動」(1回)、「訪問活動(野球体験)」(12回)、「訪問活動(その他交流活動)」、「観戦招待」(1回)、「大会開催」(1回)で、2024年調査では「野球教室」は行われなかった。活動時期は冬期が最も多く、春期が最も少なかった。月別にみると、12月が最も多く(7回)、次いで6月、9月及び10月(各2回)、1月、2月、3月、5月、7月及び11月(各1回)の順であった。一方で、4月及び8月には行われなかった。活動が実施された都道府県は6都道府県で、愛媛県で最も多く実施され、次いで千葉県であった。

参考:都道府県×子どもへのリーチ率(3~5歳)

リーチ率

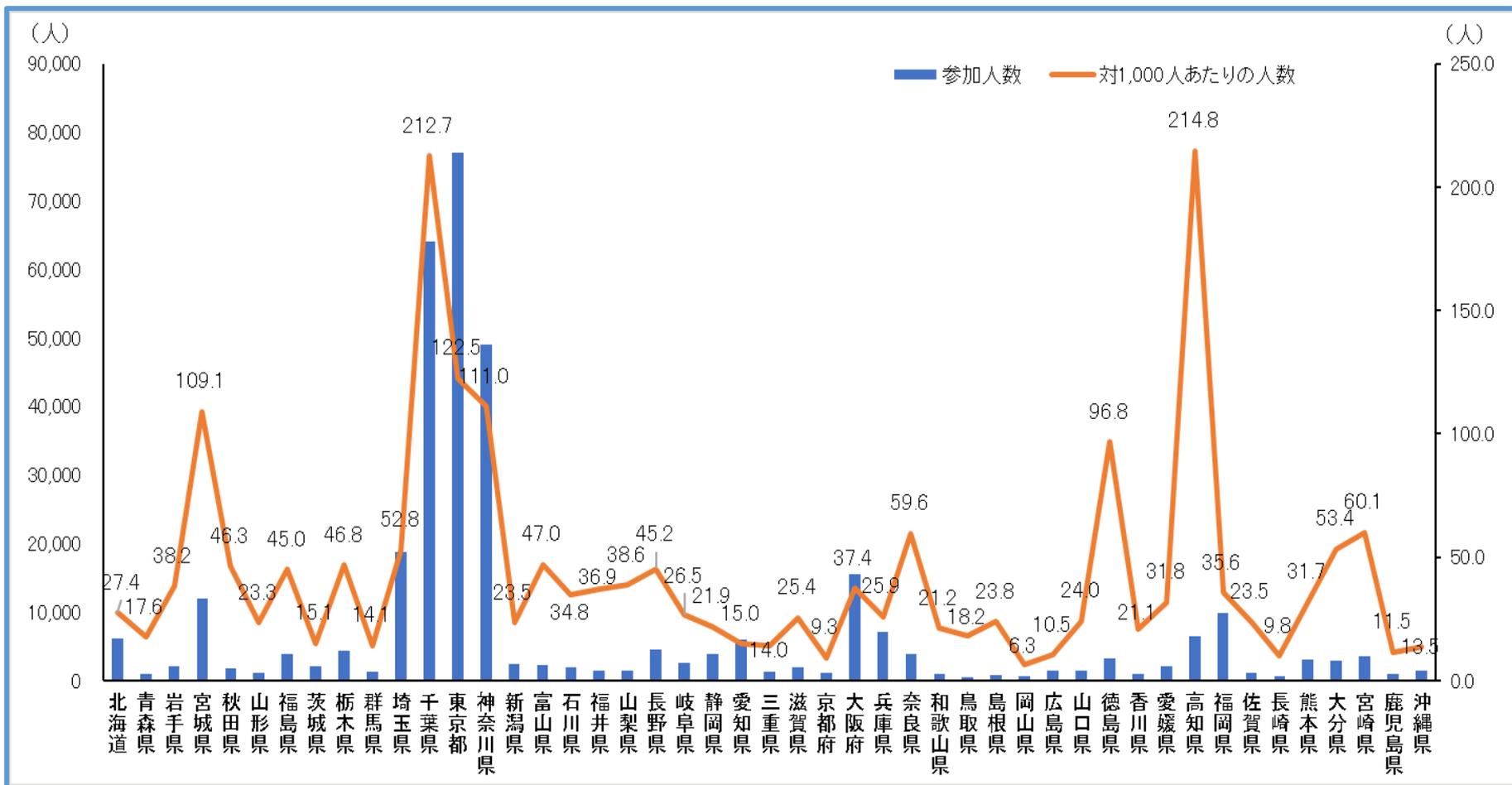
実際に行った野球普及振興活動が当該地域に在住する子どもに対してどの程度届いたかを測る指標。当該都道府県の3歳から5歳の子ども1,000人あたりに対する活動への参加人数を分析。



3~5歳の子どもに対するリーチ率を図るために、2017年から2019年に当該都道府県にて出生した子の数の合計(272万9,785人)を3~5歳の人口とみなして分析した¹⁾。3~5歳の子ども1,000人あたりに対する参加人数をみると、神奈川県が146.1人と最も多く、次いで高知県82.7人、千葉県60.5人、徳島県59.7人、埼玉県49.5人とプロ球団のある都道府県が高い数値を示した。2022年調査と比較すると、神奈川県、千葉県及び埼玉県といった都市化の進んだ都道府県のリーチ率が増加している。

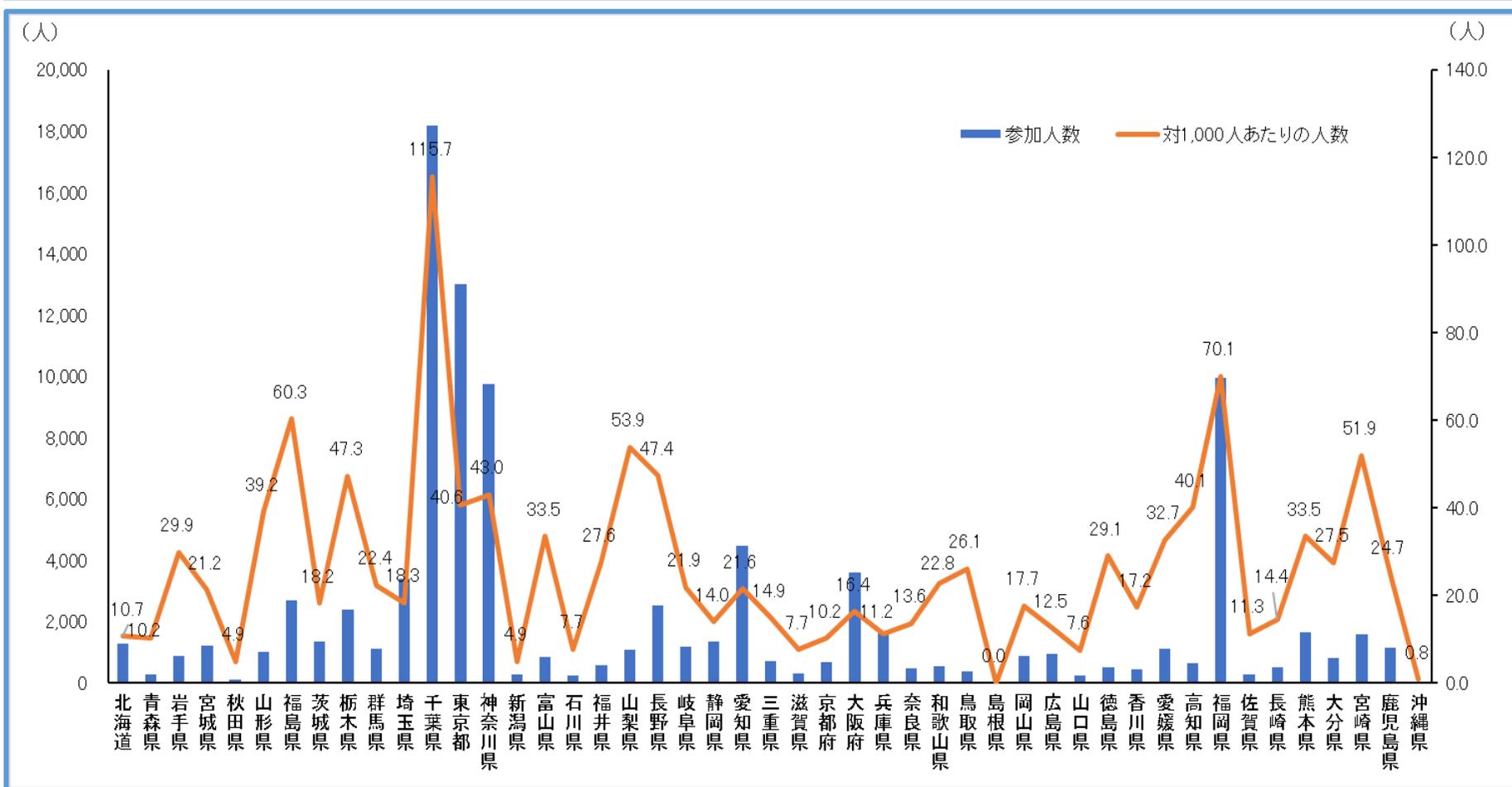
¹⁾本報告書では、当該年の出生数を3~5歳の人口としたため、転入出等の事象による増減があることに注意する必要がある。

参考:都道府県×子どもへのリーチ率(小学生)



小学生を対象とした活動をみると、参加人数では、東京都、千葉県、神奈川県が多く、NPBの球団のある地域が上位となっている。他にも宮城県、埼玉県、大阪府及び福岡県も比較的参加人数が多かった。2022年調査では、独立リーグのある都道府県でも参加人数が多い傾向にあったが、2024年調査では、そのような傾向は見られなかった。他方、小学生1,000人あたりに対する参加人数をみると、高知県が最も多く214.8人で、次いで千葉県212.7人、東京都122.5人、神奈川県111.0人、宮城県109.1人の順となっている。リーチ率をみると独立リーグのある都道府県も数値が高い傾向にあった。

参考:都道府県×子どもへのリーチ率(中学生)



中学生を対象とした活動をみると、参加人数では、千葉県、東京都、福岡県及び埼玉県で多く参加しており、NPB球団が所在する都道府県が上位となった。他方、1,000人あたりに対する参加人数をみると、千葉県115.7人及び福岡県44.8人といったNPB球団のある都道府県のほか、福島県60.3人、宮崎県51.9人、長野県47.4人及び栃木県47.3人といった独立リーグの球団がある都道府県が多かった。また、2025年から独立リーグに参入する球団がある山梨県は活動回数は少なかったが、1,000人あたりの参加人数は53.9人と比較的多かった。これまで中学生におけるリーチ率は低い傾向であったが、2024年調査ではこれまでの調査よりも高い数値を表している。

調査票Ⅱ

＝特定人物に対して一定期間繰り返し行われる事業(参加者の継続性あり)＝

団体×活動(回数&人数)

【回数】

団体	スクール事業	その他(Ⅱ)	合計
NPB	235	2	237
独立リーグ	4	4	8
JABA	11	2	13
リトル	0	1	1
高野連	12	11	23
大学連盟	4	0	4
全軟連	5	0	5
合計	271	20	291

調査年	スクール事業		その他(Ⅱ)	合計
	スクール事業	野球教室		
2024	271		20	291
2022	184		18	202
2020	184		20	204
2018	175	15	18	208

【人数】

団体	スクール事業	その他(Ⅱ)	合計
NPB	15,274	36	15,310
独立リーグ	134	84	218
JABA	640	75	715
リトル	0	10	10
高野連	455	1,183	1,638
大学連盟	200	0	200
全軟連	122	0	122
合計	16,825	1,388	18,213

調査年	スクール事業		その他(Ⅱ)	合計
	スクール事業	野球教室		
2024	16,825		1,388	18,213
2022	14,135		2,374	16,509
2020	14,979		2,371	17,350
2018	11,972	827	562	13,361

特定の人物に対して継続的に行った活動をみると、野球界全体で291の活動が行われ、1万8,213人が参加した。活動回数をみると、NPBが237回と最も多く、全体の約81%を占めている。NPBの活動は2022年調査と比較すると77回増加している。次いで回数が多かったのは高野連の23回で、2022年調査から15回増加している。JABAの活動は2024年調査では13回で、2022年調査から5回減少し、2020年調査と比較すると17回減少している。また、全軟連は「スクール事業」が1回減少し、「その他(Ⅱ)」は活動が行われなかった。活動別にみると、NPBの「スクール事業」が235回と2022年調査よりも13回増加している。2024年調査では、参加者に継続性がある活動を行なった団体は7団体あり、2022年調査よりも1団体増加した。参加人数をみると、2024年は1万8,213人が参加し、2022年調査と比較すると1,704人増加した。活動別にみると、スクール事業では、NPBが回数(235回)及び参加人数(1万5,274人)共に最も多く、その他(Ⅱ)では、高野連が回数(11回)及び参加人数(1,183人)共に最も多い。参加者に継続性がある事業は2018年調査から2022年調査まで減少傾向にあったが、2024年調査では増加に転じ、参加人数も2018年から約5,000人増加している。その他(Ⅱ)の活動内容としては、高野連による中学生に対する硬式野球の体験会や野球体験活動が挙げられる。

都道府県×活動(回数)

都道府県	スクール事業	その他(Ⅱ)	合計
神奈川県	43	0	43
埼玉県	41	1	42
福岡県	25	0	25
東京都	21	0	21
千葉県	14	1	15
大分県	10	1	11
栃木県	11	0	11
福島県	11	0	11
茨城県	10	0	10
群馬県	10	0	10
静岡県	10	0	10
高知県	3	5	8
北海道	6	2	8
佐賀県	6	0	6
岩手県	2	3	5
大阪府	4	1	5
愛知県	5	0	5
秋田県	4	0	4
熊本県	1	3	4
宮崎県	4	0	4
石川県	2	1	3
富山県	3	0	3
兵庫県	3	0	3
徳島県	1	1	2
鳥取県	2	0	2
広島県	2	0	2
山形県	2	0	2
山口県	2	0	2
山梨県	2	0	2
岐阜県	2	0	2
青森県	1	0	1
京都府	1	0	1
滋賀県	1	0	1
奈良県	1	0	1
三重県	1	0	1
宮城県	0	1	1
オンライン	1	0	1
不明	3	0	3
合計	271	20	291

都道府県×活動(人数)

都道府県	スクール事業	その他(Ⅱ)	合計
神奈川県	2,096	0	2,096
東京都	1,877	0	1,877
千葉県	1,792	16	1,808
埼玉県	1,574	20	1,594
北海道	1,523	58	1,581
兵庫県	1,440	0	1,440
福岡県	838	0	838
石川県	137	530	667
大阪府	450	10	460
高知県	80	341	421
福島県	361	0	361
茨城県	334	0	334
愛知県	307	0	307
栃木県	306	0	306
静岡県	239	0	239
山形県	235	0	235
群馬県	223	0	223
熊本県	23	193	216
岩手県	30	169	199
大分県	190	6	196
広島県	173	0	173
佐賀県	152	0	152
滋賀県	120	0	120
岐阜県	104	0	104
秋田県	83	0	83
徳島県	54	20	74
富山県	71	0	71
宮崎県	71	0	71
鳥取県	60	0	60
青森県	50	0	50
三重県	50	0	50
山梨県	50	0	50
奈良県	45	0	45
山口県	37	0	37
京都府	30	0	30
宮城県	0	25	25
オンライン	106	0	106
不明	1,514	0	1,514
合計	16,825	1,388	18,213

都道府県別にみると、活動回数は、神奈川県(43回)、埼玉県(42回)、福岡県(25回)の順で多い。上位10位までプロ球団がある都道府県が占めている。参加人数は、スクール事業では神奈川県(2,096人)、東京都(1,877人)、千葉県(1,792人)、埼玉県(1,574人)の順に多い。その他(Ⅱ)では、石川県(530人)が最も多く、次いで高知県(341人)、熊本県(193人)であった。石川県は2022年調査と比較すると330人増加した。2022年調査では海外でスクール事業が行われていたが、2024年調査では行われなかった。

団体×対象(回数&人数) (特定人物に対して一定期間繰り返し行われる活動について実施回数、参加人数の観点から分析)

【回数】

団体	幼児	小学生	中学生	高校生	大学生	成人	合計
NPB	148	219	63	9	2	6	447
独立リーグ	2	4	4	0	0	0	10
JABA	0	4	9	0	0	2	15
リトル	0	1	0	0	0	0	1
高野連	3	10	14	7	0	6	40
大学連盟	0	4	0	0	0	0	4
全軟連	0	3	3	0	0	0	6
合計	153	245	93	16	2	14	523

※複数の対象で実施する活動があるため、延べ数となる。

【人数】

団体	幼児	小学生	中学生	高校生	大学生	成人	合計
NPB	2,071	11,738	1,234	216	18	33	15,310
独立リーグ	21	100	97	0	0	0	218
JABA	0	235	425	0	0	55	715
リトル	0	10	0	0	0	0	10
高野連	46	330	888	203	0	171	1,638
大学連盟	0	200	0	0	0	0	200
全軟連	0	60	62	0	0	0	122
合計	2,138	12,673	2,706	419	18	259	18,213

各団体の活動を対象者別にみると、活動回数では、NPBが447回と最も多く、次いで高野連40回、JABA15回であった。NPBはすべてのカテゴリで活動を行っていた。独立リーグは幼児、小学生及び中学生に対する活動であった。JABAの対象は、小学生及び中学生に対する活動が中心であった。2022年調査では大学生に対する活動が多かったが、2024年調査では行われなかった。参加人数では、NPBが1万5,310人と最も多く、2022年調査から約2,000人増加した。次いで参加人数が多かった高野連(1,638人)は中学生の参加人数が多く、硬式野球の体験会の影響が大きい。対象別に活動をみると、小学生に対する活動が最も多く、参加人数は1万2,673人と全体の約70%を占めている。

その他(特記事項)

◆ 団体別傾向・特記事項

統括団体	調査票	傾向・特記事項
NPB	I	最も多くの普及振興活動を行っており、特に幼児や小学生を対象に「訪問活動(野球体験)」や「体験活動」といった野球未経験者を含む対象集団に対する活動の回数が増加しているが、NPB球団がない都道府県での活動は少ない。
独立リーグ	I	「野球教室」の活動回数が増加傾向にあり、「地域貢献活動」の活動の割合が減少した。「訪問活動」も増加傾向にあり、幅広いカテゴリーで活動を行うようになった。
選手会	I	「訪問活動」を定期的に行っている。
選手会	I	「大会開催」を多く開催している。
OBクラブ	I	オンラインでの活動に加えて野球教室を多く行うようになった。
WCBF	I	国内外で「野球教室」、「体験活動」及び「訪問活動(野球体験)」を行っている。
JABA	I	社会人野球クラブによる「野球教室」及び「体験活動」が多く行われている。
大学連盟	I	これまでの調査と同様に大学が主体となって「野球教室」を多く行っている。
女子野球	I	高校女子硬式野球部及び社会人硬式野球チームによる活動が行われている。
高野連	II	中学生に対する硬式野球の体験会が多く行われるようになった。

◆ 特徴的な事業

統括団体	調査票	傾向・特記事項
NPB	I	「女性限定」の「体験活動」や「訪問活動」が多く行われている。
NPB	I	小学校教諭に対する「体育授業研究会」を行っている。
独立リーグ	I	小学生に対する「野球教室」が多く行われている。
高野連	I	小学生、中学生及び高校生が合同で参加する活動が行われている。
高野連	I	中学校教諭に対する「体育授業研究会」を行っている。
JABA	I	女性限定の「野球教室」が行われている。
JABA	I	未経験者限定の「体験活動」及び「訪問活動(野球体験)」が行われている。
全軟連	I	ティーボールやBaseball5の大会を開催している。
その他	I	地域の野球普及振興を目的とした団体による活動が増加している。
NPB	II	プロ球団による野球以外のスポーツに関するスクールも行われている。

まとめ

- 【A】 野球の普及振興活動は、全体としては、2022年調査よりも増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響から回復しつつあるが、コロナ禍前の2020年調査の水準までは戻っていない事業もある。
- 【B】 複数の競技団体による共同開催の活動や都道府県及び市区町村のスポーツ関連部局との連携事業が行われるようになり、組織間関係の構築が進んでいる。
- 【C】 未就学児及び小学生に対する「体験活動」及び「訪問活動」が増加し、子どもたちが野球に触れる機会が増加していて、新規競技人口の獲得に向けた動きが活発となっている。
- 【D】 オンラインを活用した「講習会」「その他(Ⅰ)」が引き続き行われている。
- 【E】 これまでの調査と比較すると、プロ球団がない都道府県間で普及振興活動の回数及び参加人数に格差が生じている。
- 【F】 野球競技統括団体だけでなく、地域の野球協議会や普及振興を目的とした地域団体の活動が増加している。
- 【G】 中学生を対象にした活動が増加している。



今後の野球普及振興活動のための方策

- 子どもや未経験者が野球に触れる機会の拡大
- 普及振興活動の実施回数に関する地域間格差の縮小に向けた活動の推進
- 未経験者に対する野球体験を目的とした活動と野球チームへの参加につながる体験活動を組み合わせた活動の実施
- 複数の競技団体及び官民連携の事業の拡大
- 地域の普及振興活動を目的とした団体の活動やチーム単位で行われる普及振興活動の支援の拡大
- 中学校部活動地域展開による中学生の野球環境を維持するための活動